

# 令和2年度 大雪山国立公園協力金等検討作業部会（第1回）

日時：令和2年11月19日（木）  
13:00～15:30

場所：東川町複合交流施設  
せんとびゅあⅠ 講堂

## 次 第

### 1. 開 会

### 2. 議 事

#### （1）大雪山国立公園における協力金等取組方針（仮）について

##### 1）大雪山国立公園における取組の現状および課題

##### 2）「令和元年度大雪山国立公園における利用者負担等検討調査業務」の報告について

##### 3）取組方針（仮）の作成について

#### （2）事例研究

##### 「富士山保全協力金について」

静岡県 スポーツ・文化観光部文化局 富士山世界遺産課  
課長代理 川口 智弘 様

### 3. その他

### 4. 閉 会

## 配布資料

資料 1 - 1 大雪山国立公園における取組の現状及び課題

資料 1 - 2 - 1 令和元年度大雪山国立公園における登山者アンケート結果

資料 1 - 2 - 2 令和元年度大雪山国立公園に関する協力金ヒアリング結果 概要

資料 1 - 3 大雪山国立公園における協力金に関する取組方針（仮）の作成について

資料 2 富士山保全協力金について

参考資料 1 大雪山国立公園協力金等検討作業部会の設置について

参考資料 2 大雪山国立公園グレードマップ

# 大雪山国立公園における取組の現状と課題

# 1. これまでの経緯と取組の現状

## (1) 協力金に関する社会的理解、機運の向上

### 1) 「大雪山の利用のあり方検討報告書」（平成21年4月、北海道上川支庁）

○山岳地のトイレなど個別の利用施設に関する協力金については一定の理解。

○入園料や入山料等の徴収については、一定の方向性や目標を見出すまでには至らず。

### 2) 大雪山国立公園における協力金に対する意識調査

○環境省が実施したウェブによる意識調査（時期：平成31年2～3月、対象：一般登山者）、

現地における意識調査（時期：令和2年8～9月、対象：大雪山登山者）では、

いずれも大雪山協力金に対して好意的な印象を持つ利用者の割合が大きかった。

### 3) 大雪山国立公園ビジョン（令和2年6月、大雪山国立公園連絡協議会）

○「大雪山国立公園ビジョン」においては、「大雪山国立公園の管理運営に参画・

協力したい人がお金や労力を提供できる仕組みが整った状態を目指す」こととさ

れている。

# 1. これまでの経緯と取組の現状

## (2) 大雪山国立公園における取組の現状

○大雪山国立公園内で、次の6事例を把握。

名称	目的	対象	金額
黒岳トイレ協力金	トイレの維持管理 (汲取り人件費・運搬代等)	トイレ利用者	トイレ利用1回 200円
黒岳石室協力金	石室の維持管理	石室宿泊者 テント泊者	石室宿泊1泊 1000円 テント泊1泊 300円
白雲岳避難小屋協力金	避難小屋の維持管理 (管理人人件費)	避難小屋宿泊者 テント泊者	避難小屋宿泊1泊 2000円 テント泊1泊 300円
旭岳保全協力金	東川町大雪山国立公園 保護協会が実施する旭岳保全に係る事業	登山者、観光客等	募金のため目安額の設定なし
銀泉台・高原温泉マイカー規制協力金	マイカー規制の運営	シャトルバス利用者	シャトルバス利用往復 200円
大雪高原温泉沼めぐり登山コース 平成27年、令和元～2年度募金実験	登山道補修、整備	登山者	募金のため目安額の設定なし

○目的については、施設の維持管理、登山道補修等がある。  
金額目安を示して収受する場合と、募金形式（金額任意）のものがある。

○ただし、登山道補修等を目的とし、かつ、金額目安を示して収受する事例はない。3

## 2. 協力金を検討する目的・背景

### ○大雪山国立公園の課題への対応

- ・登山道の荒廃・侵食
- ・し尿の散乱・トイレの不足
- ・高山植物の踏みつけ・損傷など

### ○大雪山国立公園の価値を一層高める

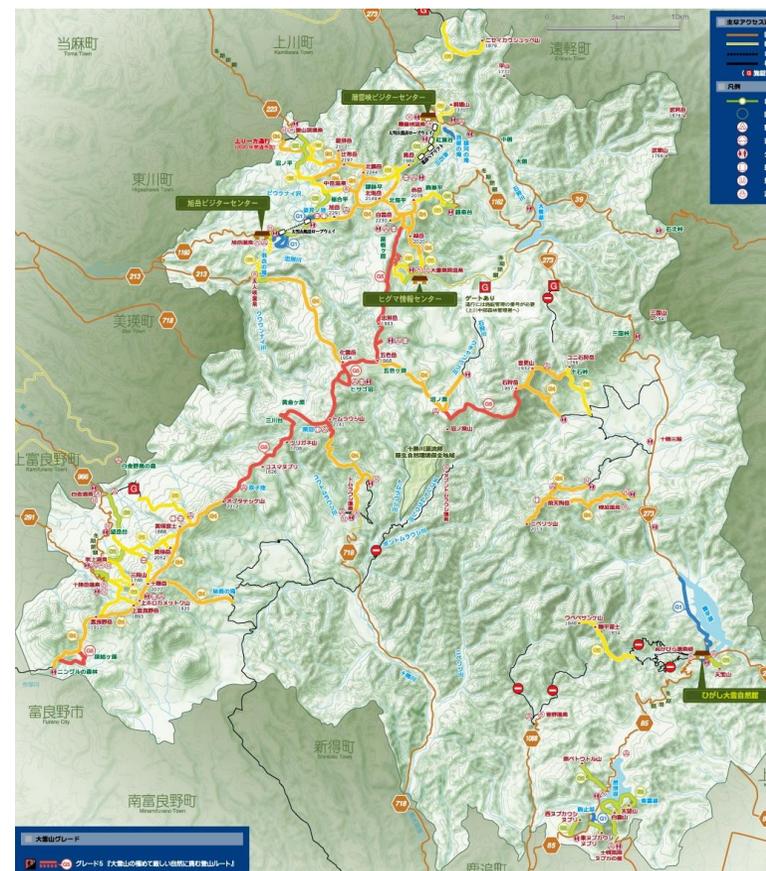
- ・利用者のニーズに合わせたきめ細やかで質の高いサービスの提供

### ○従来の維持管理の担い手（山岳会等）の高齢化、行政における公共事業の削減や予算確保の困難化

### 3. 協力金を検討する上での前提条件

#### (1) いわゆる「入山料」の導入は困難

- いわゆる「入山料」は、「大雪山国立公園全域で（すべての登山口で）に係員を配置し、公平に利用者から料金を収受する」こと。
- 現在、大雪山国立公園には登山口は30程度存在。
- その登山口全てに人員を配置し、収受の管理する場合、収受のための人件費が、収受額を上回るか、収受額の多くを占めることとなり、利用者の理解が得られない。
- このため、いわゆる「入山料」の導入は困難であるという前提で検討を進める。



大雪山国立公園には登山口は30程度存在

### 3. 協力金を検討する上での前提条件

#### (2) 利用者がお金を支払う多様な手法のうち、協力金が妥当

- 強制的支払いには使用料、法定外税がある。  
自主的な支払いには、協力金、寄付金、募金等がある。
- 強制的な場合、厳格な公平性（すべての対象者から確実に徴収）が求められる。  
大雪山国立公園では上記（1）の条件があるため、導入は困難。
- 自主的な場合、受益者は利用者すべてに及ぶ（登山者の補修など）ため、  
すべての利用者に支払い意志を確認でき、  
支払いに賛同するすべての人が支払えることが重要であるため、協力金が妥当。

(参考)

- ・ 寄付金：  
現地で登山等に伴い支払うのではなく、強く賛同する者が、後日インターネット、振込み等で支払うことを重視するイメージ。支払い金額目安は、「1口〇円、〇口以上」など。
- ・ 募 金：  
登山口に募金箱がおいてあり、特別に呼びかけるとき以外、常には支払いを求められない任意性が非常に強いイメージ。支払い金額目安の提示もない。

### 3. 協力金を検討する上での前提条件

#### (3) 協力金の成立要件を満たす仕組みを あらかじめ構築することが必要

- これまでの研究結果により明らかになってきた協力金の成立要件は、次のとおり。
  - ①公平性の確保
  - ②効率性がある
  - ③用途の明確性（用途の公表）がある
  - ④現地で使用されるもの（資材等）に充てることが好まれる（※）
    - ※人件費として使用する場合は、十分な説明が求められる。

#### (4) デメリットの認識、受け入れ

- 協力金を新たに設けることにより、訪問者を減少させる（地域経済に対する影響）  
効果が一定程度はある。

## 4 - 1. 協力金の検討課題（進め方）

### **（1）大雪山国立公園連絡協議会 協力金等検討作業部会における検討**

- 大雪山国立公園の特性を踏まえて、取組方針（仮）を検討。
- 大雪山国立公園連絡協議会として、協力金に対する考え方を明確化。  
下記（2）における、個別の地域における、個別の検討の後押し。

### **（2）個別の地域における個別検討**

- 実施可能であり、条件が整った地域から、順次検討を開始して実施。
- 実施主体の明確化、関係者が漏れなく合意形成に参加することが重要。

## 4-2. 協力金の検討課題（協力金の使い方）

### 最重要課題である登山道荒廃対応の場合

○「大雪山国立公園登山道整備技術指針」に基づき、登山道整備、補修ができる技術者を擁し、情報発信ができる団体に対する請負業務を想定。

※請負業務の主な経費内訳

- ・資材費、指導・施工する技術者人件費
- ・ボランティアコーディネート諸経費・人件費
- ・情報発信をしながら作業の実施、成果報告人件費等

<特色>

- 施工を行う際、これまでの山岳地域における登山道補修イベント等の実績を踏まえて、大雪山の管理運営に参加したいボランティアの参加も得る。
- あらかじめ施工計画がたてるが、現地の状況に応じ、臨機応変に最適なものを施工。
- 発展性があり、将来的に支出した費用以上の効果が見込める
  - ・ 施工者の人材育成
  - ・ 山岳地域の維持管理に関する仕事の創出（地域の雇用）
  - ・ 大雪山のファンなど協力金に賛同する人の裾野の拡大。

## 4 - 2. 協力金の検討課題（協力金の使い方）

× 公共事業における整備と同様の使い方（業務）の場合、  
割高感があり、発展性もないので、利用者の理解を得られない可能性がある。

- ・ 建設事業者、土木事業者への支出することとなる。
- ・ 施工業務以前に、別途設計業務の発注も必要。
- ・ 仕様書のとおり施工（現地での臨機応変な施工は不可。）
- ・ 業務終了後のメンテナンスなどはない（その場限り）。

# 大雪山国立公園における 登山者アンケート結果

<調査期間> 令和元年8月24日（土）～9月21日（土）

# 大雪山国立公園における登山者アンケート

- 大雪山国立公園における山岳地域の荒廃等の課題への対応、利用者のニーズにあわせたきめ細やかなサービス等を提供するため、利用者に負担を求めるしくみ(協力金等)の導入を検討
- 把握したい内容
  - 登山者からの賛同(理解)を得ることができるか
  - 登山者からの賛同を得るための条件は何か
- 登山口において登山者に対して協力金に関する意向調査(アンケート調査)を企画、現地調査を実施し、結果の集計・分析・とりまとめを実施

# アンケート調査の概要

- 調査対象：登山者882人（日本人776人・外国人106人）  
※主に山岳地域からの下山者を対象、黒岳7合目周辺・旭岳姿見の池園地周辺のみ  
の散策利用者は対象外
- 調査項目
  - ・ 回答者プロフィール
  - ・ 協力金に対する意向
  - ・ 大雪山国立公園訪問時の協力金への態度
    - ① 支払いの強制の度合い
    - ② 協力金の望ましい徴収場所
    - ③ 協力金の望ましい徴収方法
    - ④ 抵抗を感じる徴収方法
    - ⑤ 支払ってもよいと思う課題
    - ⑥ 支払った協力金の使途に関する情報提供の程度
    - ⑦ 支払ってもよいと思う金額

# アンケート調査の概要

- 調査期間

- 令和元年8月24日(土)～9月21日(土)  
※郵送返送、WEBアンケートの回答期限は10月31日

- 調査手法

- 現地記入

(バインダーに挟んだ調査票を筆記用具とともに渡して回答の記入を依頼)

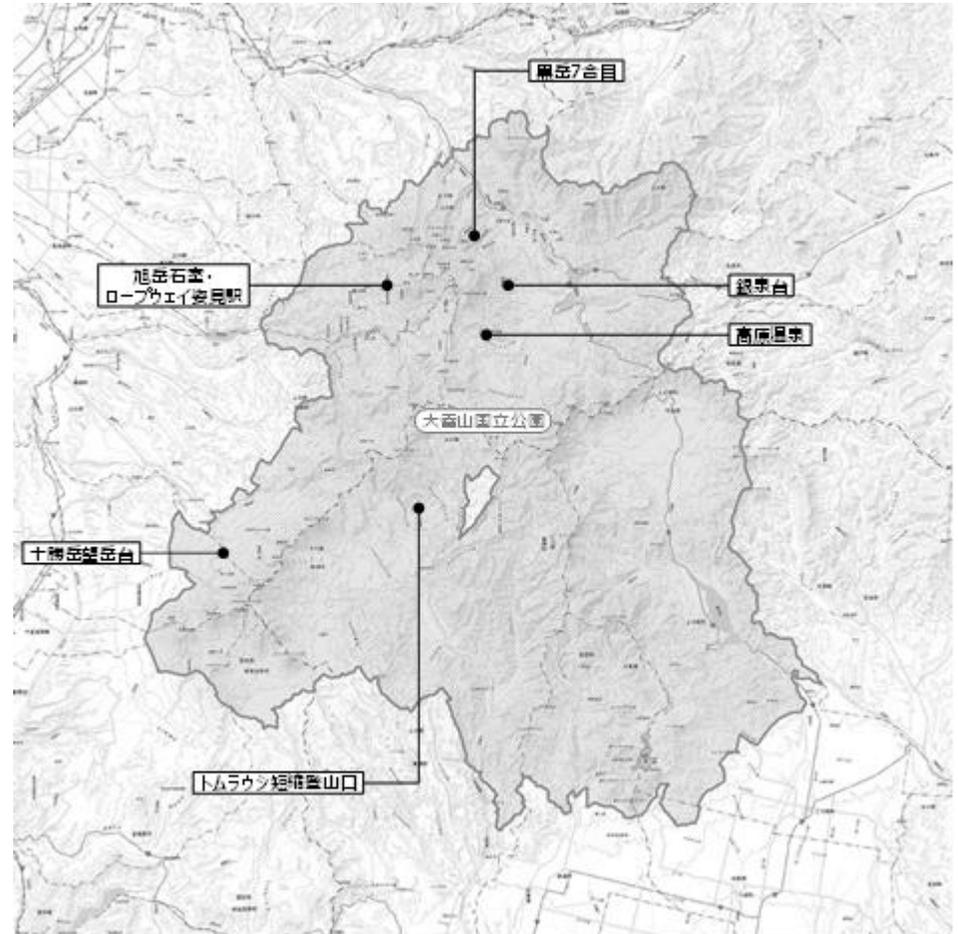
- 郵送もしくはWEBアンケート

(調査への協力意思はあるものの“時間がない”等の理由で現地記入が難しい登山者には、郵送返送(調査票・返信用封筒の配布)もしくはWEBアンケート(QRコード・URLを記載したカードの配布)での協力を依頼)



# アンケート調査の概要

- 調査場所
  - 黒岳7合目
  - 旭岳石室
  - ロープウェイ姿見駅
  - 十勝岳望岳台
  - トムラウシ短縮登山口
  - 高原温泉
  - 銀泉台



# 調査結果

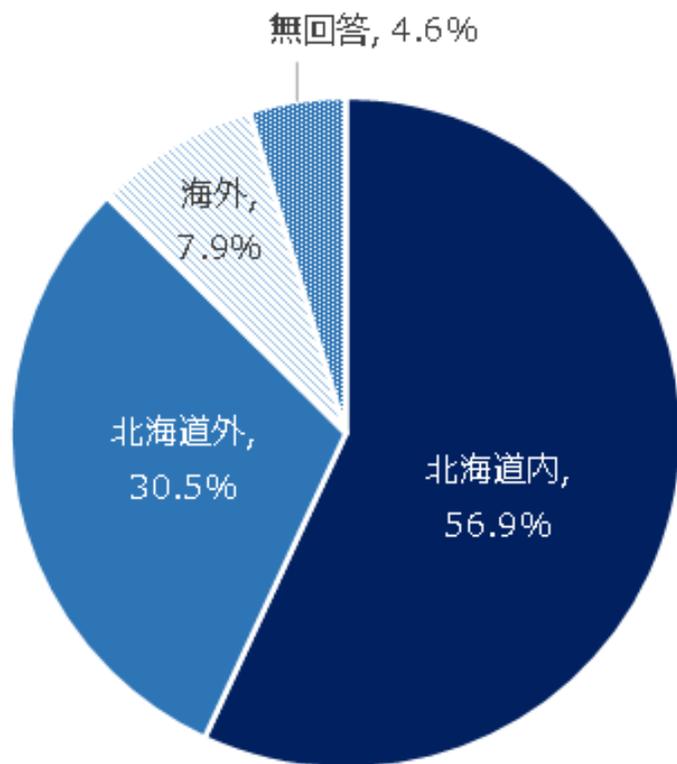
## ●調査票回収状況

調査場所	回収数					
	計	調査手法別			日本人・外国人別	
		現地記入	郵送返送	WEB	日本人	外国人
黒岳7合目	302	262	26	14	239	63
旭岳石室・ロープウェイ姿見駅	236	222	9	5	208	28
十勝岳望岳台	119	104	15	0	114	5
トムラウシ短縮登山口	68	52	16	0	68	0
高原温泉	85	12	73	0	75	10
銀泉台	71	1	70	0	71	0
不明	1	0	0	1	1	0
<b>合計</b>	<b>882</b>	<b>653</b>	<b>209</b>	<b>20</b>	<b>776</b>	<b>106</b>

# 回答者プロフィール

## (1)居住地

①居住地(n=882)



## 「道内」内訳

振興局	市町村	人数	振興局	市町村	人数
石狩	札幌市	167	宗谷	稚内市	3
	江別市	10		計	3
	恵庭市	9	オホーツク	北見市	24
	北広島市	5		他	15
	他	7		計	39
計	198	胆振	室蘭市	6	
渡島	函館市		3	苫小牧市	6
	計		3	安平町	1
後志	小樽市	3	計	13	
	他	2	日高	日高町	1
計	5	計		1	
空知	岩見沢市	6	十勝	帯広市	21
	深川市	5		幕別町	6
	滝川市	5		他	19
	他	15		計	46
計	31	釧路	釧路市	13	
上川	旭川市		71	他	4
	東川町	9	計	17	
	美瑛町	9	根室	別海町	2
	名寄市	8		計	2
	上富良野町	5	市町村記入なし	26	
他	16	合計	502		
計	118				

## 「海外」内訳

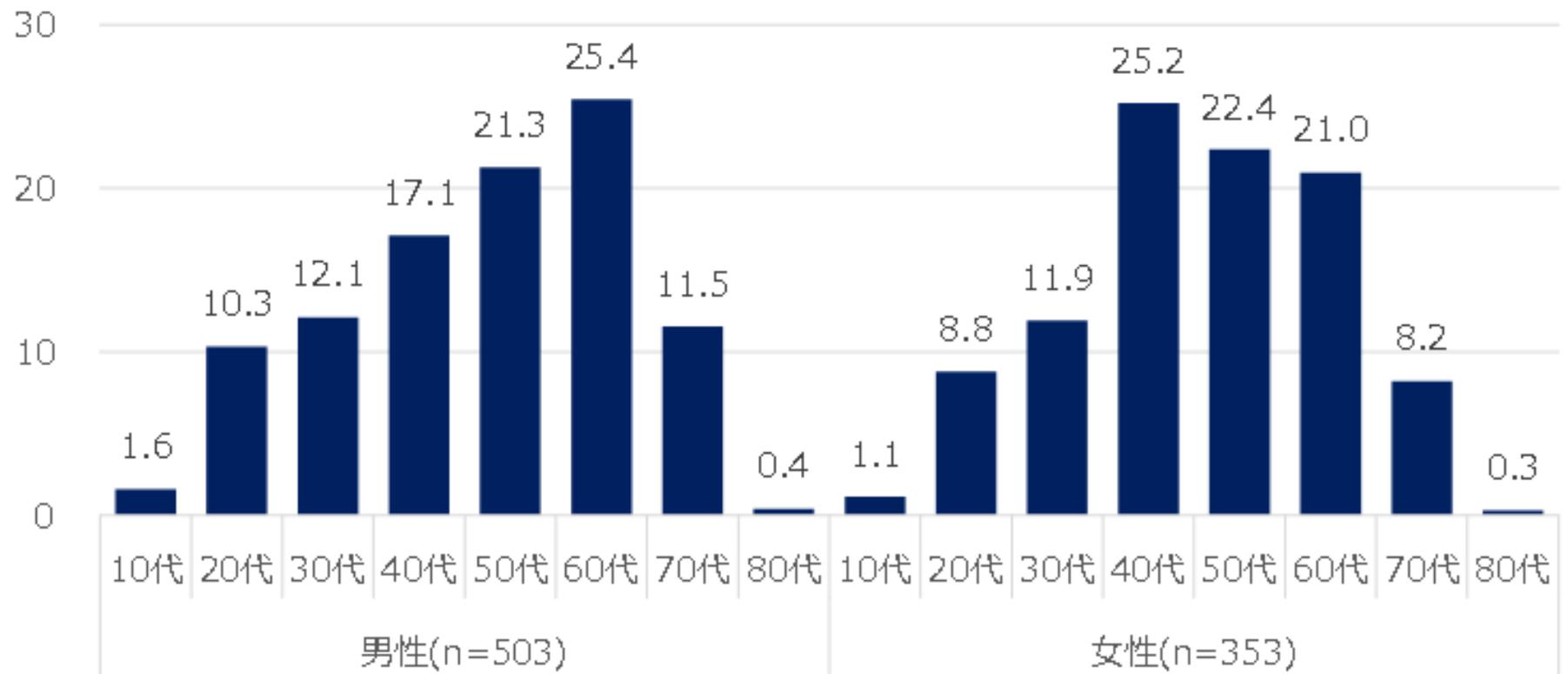
国・地域	人数
香港	10
オーストラリア	8
台湾	7
ドイツ	7
アメリカ	5
マレーシア	5
イギリス	4
カナダ	4
スイス	4
フランス	4
イスラエル	3
スウェーデン	2
スコットランド	2
スペイン	2
中国	2
ニュージーランド	2
ポーランド	2
オランダ	1
ベルギー	1
ロシア	1
未記入	1
合計	77

## 「道外(国内)」内訳

都府県	人数
東北	21
関東	139
中部	34
近畿	47
中国・四国・九州・沖縄	21
都府県記入なし	7
合計	269

# 回答者プロフィール

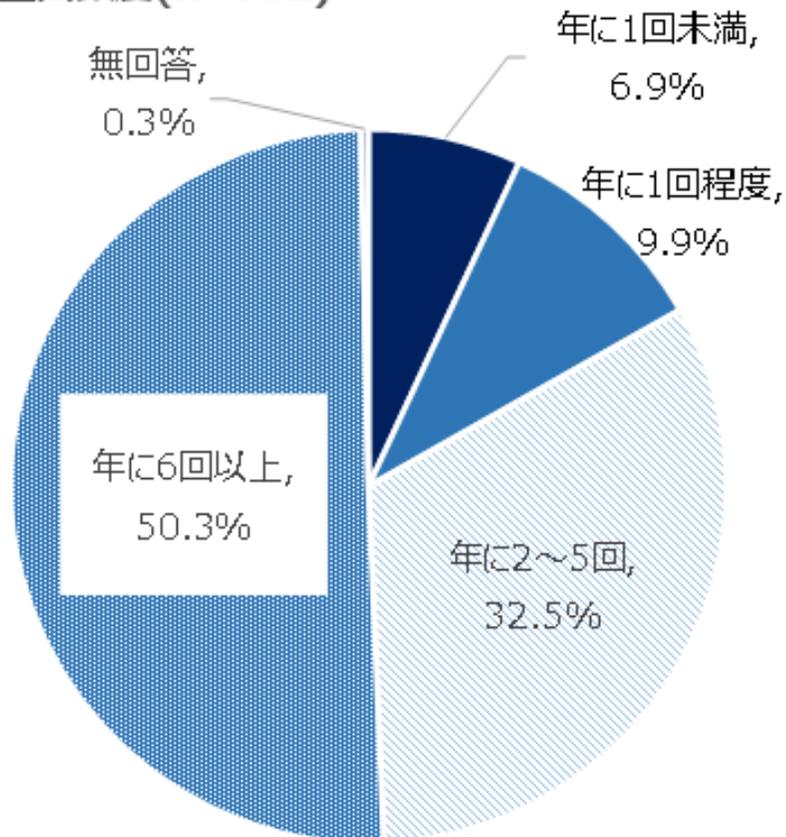
## (2)性別・年代



# 回答者プロフィール

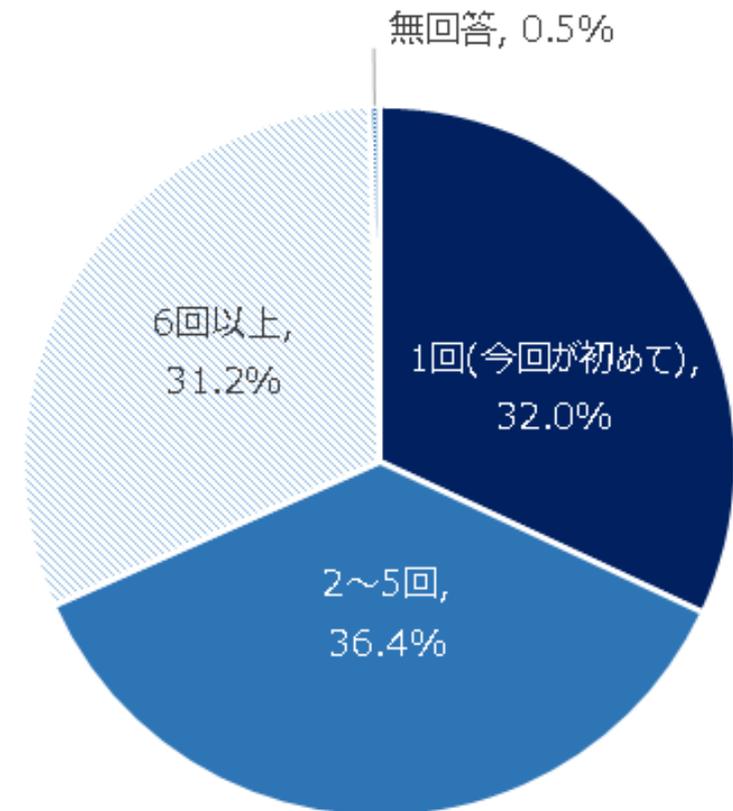
## (3) 登山頻度

② 登山頻度(n=882)



## (4) 大雪山訪問回数

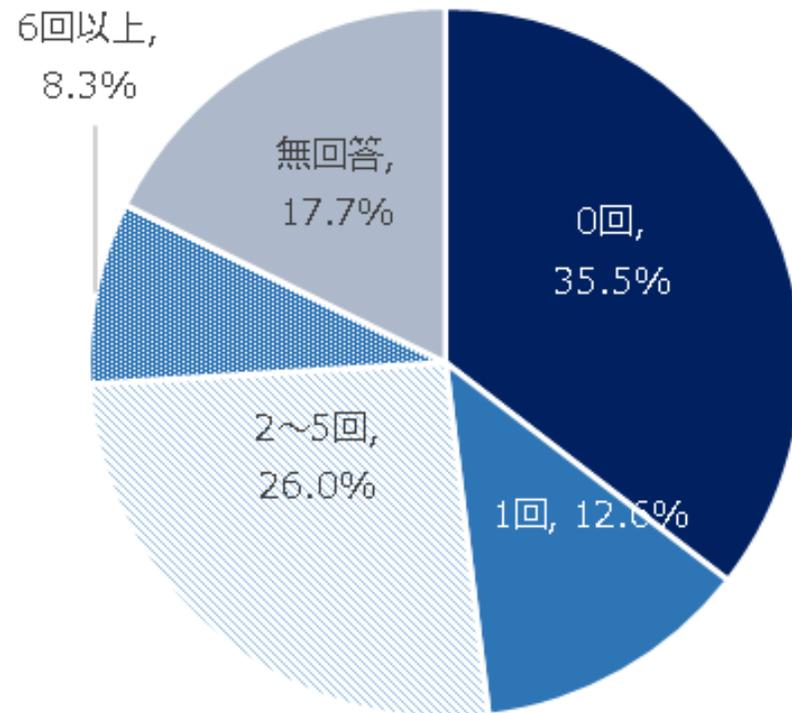
④ 大雪山訪問回数(n=882)



# 回答者プロフィール

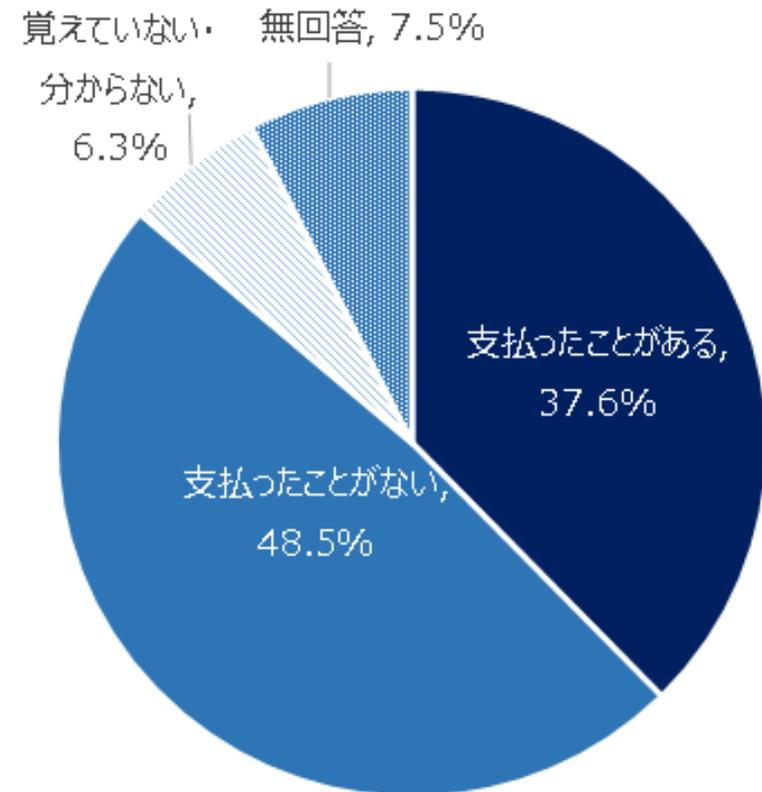
## (5) 2018大雪山登山回数

⑤2018年大雪山登山回数(n=882)



## (6) 協力金を支払った経験

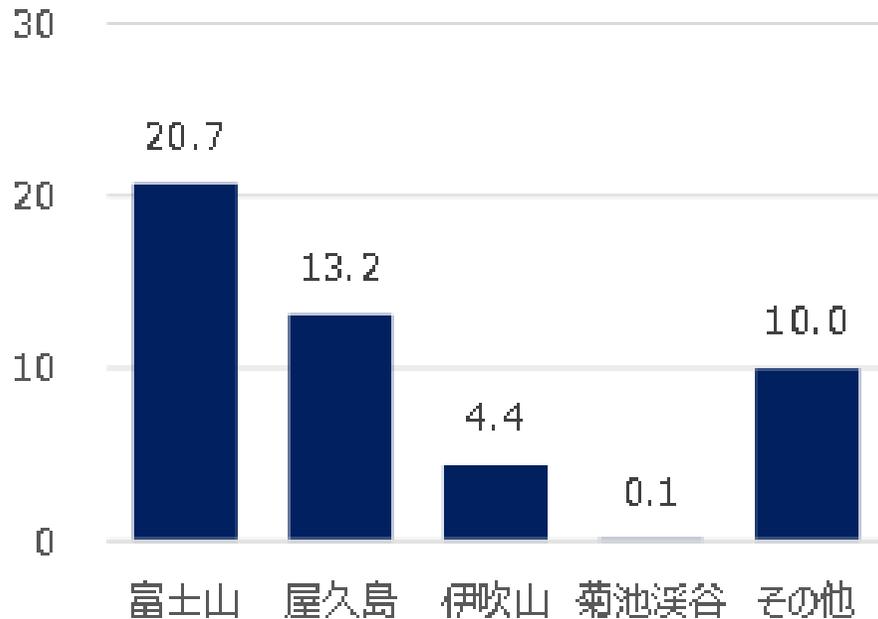
⑥協力金を支払った経験(n=882)



# 回答者プロフィール

## (7) 協力金を支払った場所

⑦協力金を支払った場所(n=882)

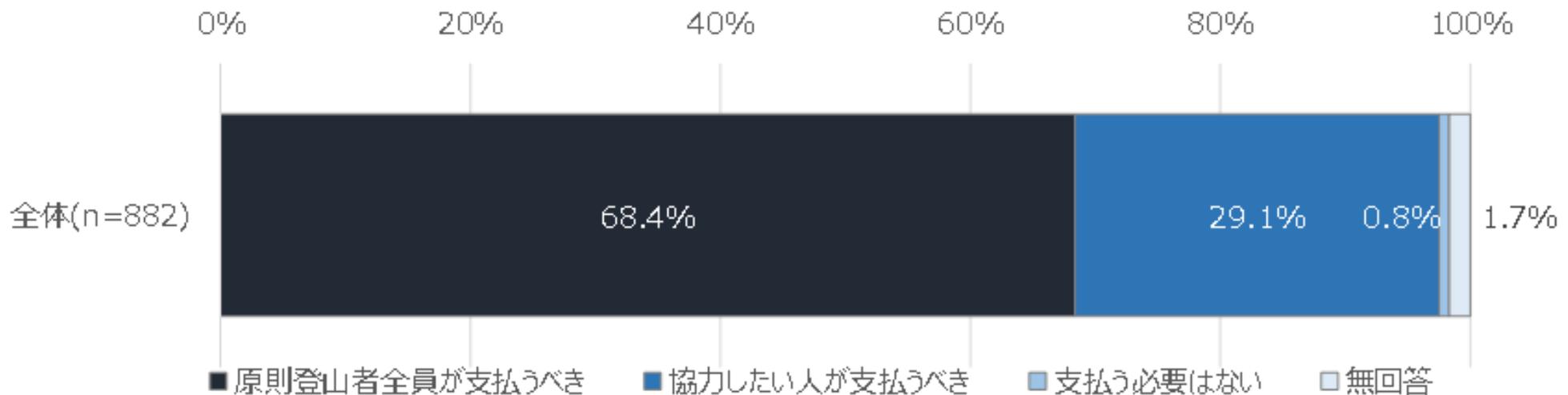


### ● 協力金を支払った場所「その他」(97件)の記述内容

- 雨竜沼湿原(30件)
- 斜里岳 (6件)
- 月山 (5件)
- 尾瀬 (5件)
- 大雪山 (2件)
- 靛糠山 (2件)
- 赤岳 (2件)
- 知床 (2件)
- 火打山 (2件)
- 旭岳 (2件)
- 高原温泉 (2件)
- Hump Ridge Track (ニュージーランド) (2件)
- 男体山 (1件)
- 岩手富士山 (1件)
- 金剛山 (1件)
- 北岳 (1件)
- 立山 (1件)
- 羊蹄山 (1件)
- 妙高 (1件)
- 銀泉台 (1件)
- 大雪・黒岳 (1件)
- 北南アルプス (1件)
- 南暑寒別山 (1件)
- ニセコ神仙沼 (1件)
- 上高地 (1件)
- 西大台ヶ岳 (1件)
- 千畳敷カール (1件)
- 夕張岳 (1件)
- ヒグマ情報センター (1件)
- 東川道の駅 (1件)
- Kinabalu (1件)
- カナダ (1件)
- デナリ (1件)
- 支払った覚えはあるが、どこかは覚えていない (4件)
- あるところすべて (1件)
- 海外の山 (1件)
- 未記入 (8件)

## ①支払いの強制の度合い（全体）

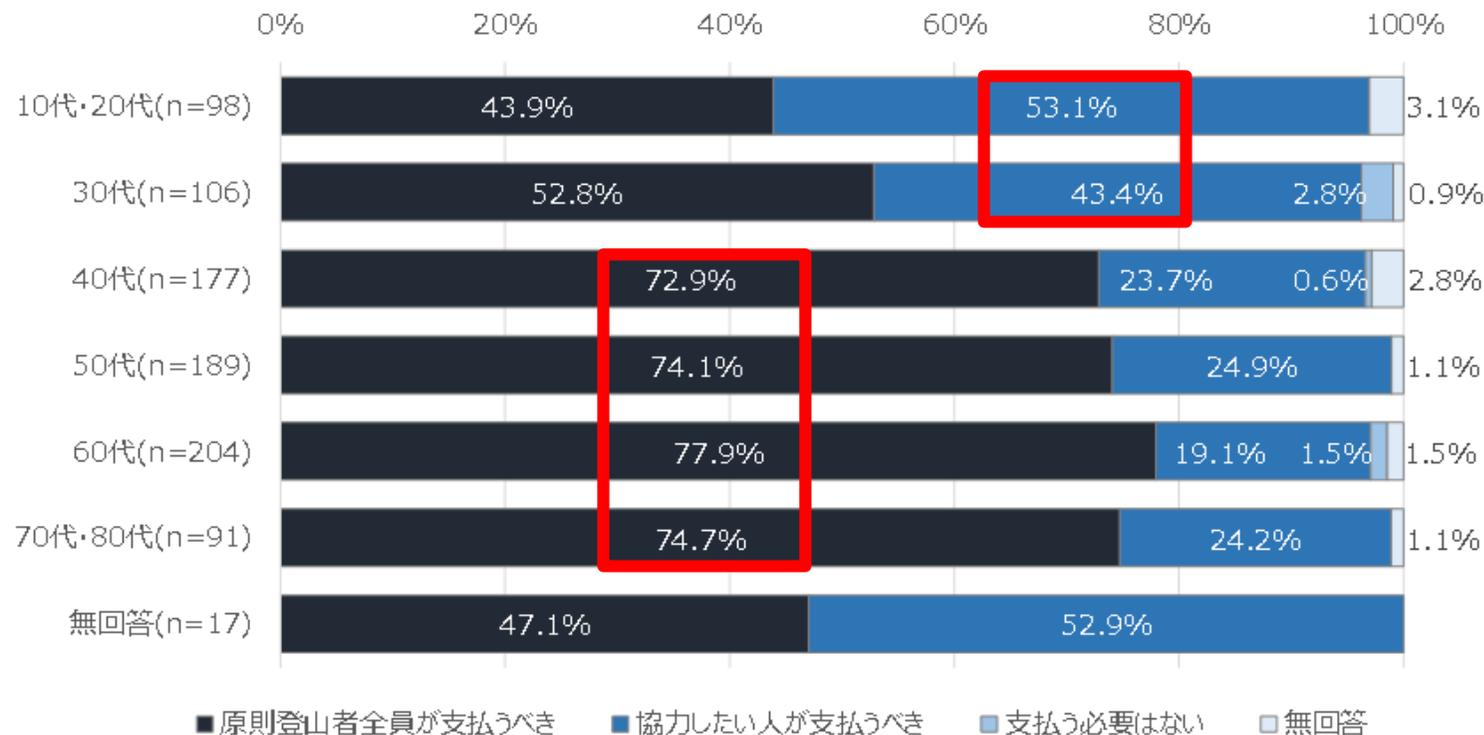
登山道等の施設の適切な管理や自然環境保全のために、登山者が協力金を支払うことをどう思いますか。  
あてはまる番号を1つだけ選択してください。



- 「原則登山者全員が支払うべき」と考える登山者が68.4%と比率が最も高く、「協力したい人が支払うべき」(29.1%)、「支払う必要はない」(0.8%)が続いた。

# ①支払いの強制の度合い（年代別）

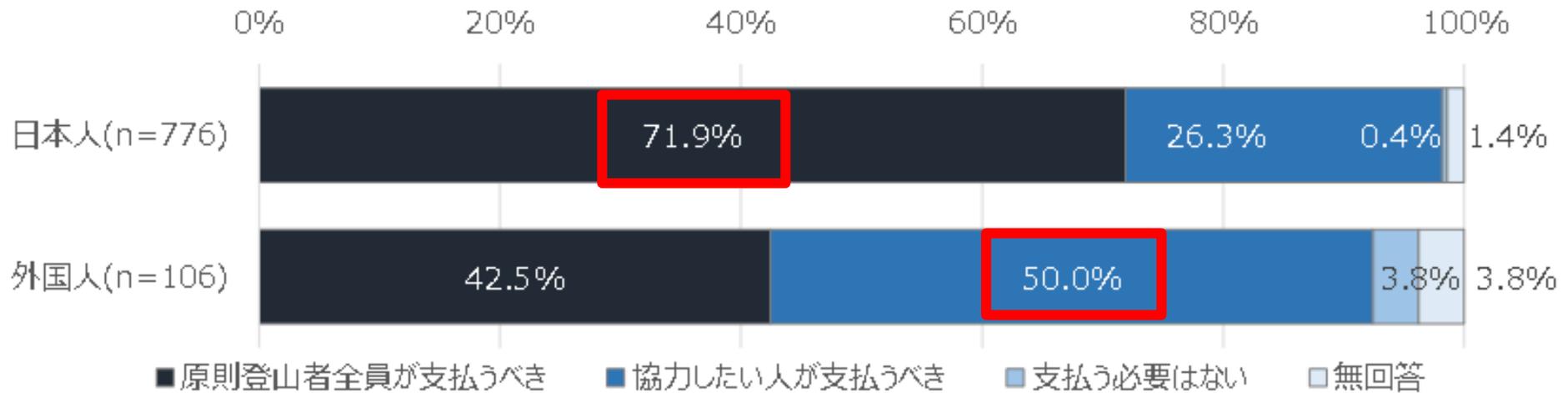
登山道等の施設の適切な管理や自然環境保全のために、登山者が協力金を支払うことをどう思いますか。  
あてはまる番号を1つだけ選択してください。



- 年代別では、40代以上は7割以上が「原則登山者全員が支払うべき」を選択
- “10代・20代”及び“30代”は「協力したい人が支払うべき」の比率が高い傾向がみられ、特に“10代・20代”では半数以上が「協力したい人が支払うべき」を選択した。

# ①支払いの強制の度合い (日本人・外国人別)

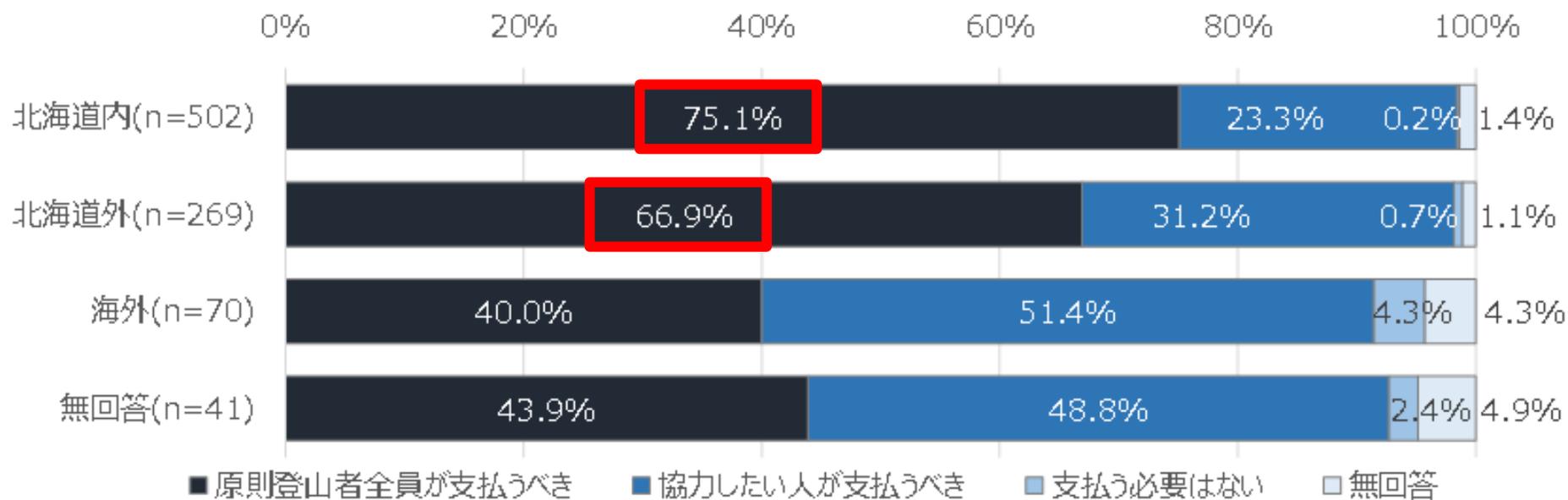
登山道等の施設の適切な管理や自然環境保全のために、登山者が協力金を支払うことをどう思いますか。  
あてはまる番号を1つだけ選択してください。



- 日本人・外国人別では、“日本人”は7割以上が「原則登山者全員が支払うべき」を選択したのに対し、“外国人”は半数が「協力したい人が支払うべき」を選択し「原則登山者全員が支払うべき」を上回った。

# ①支払いの強制の度合い (居住地別)

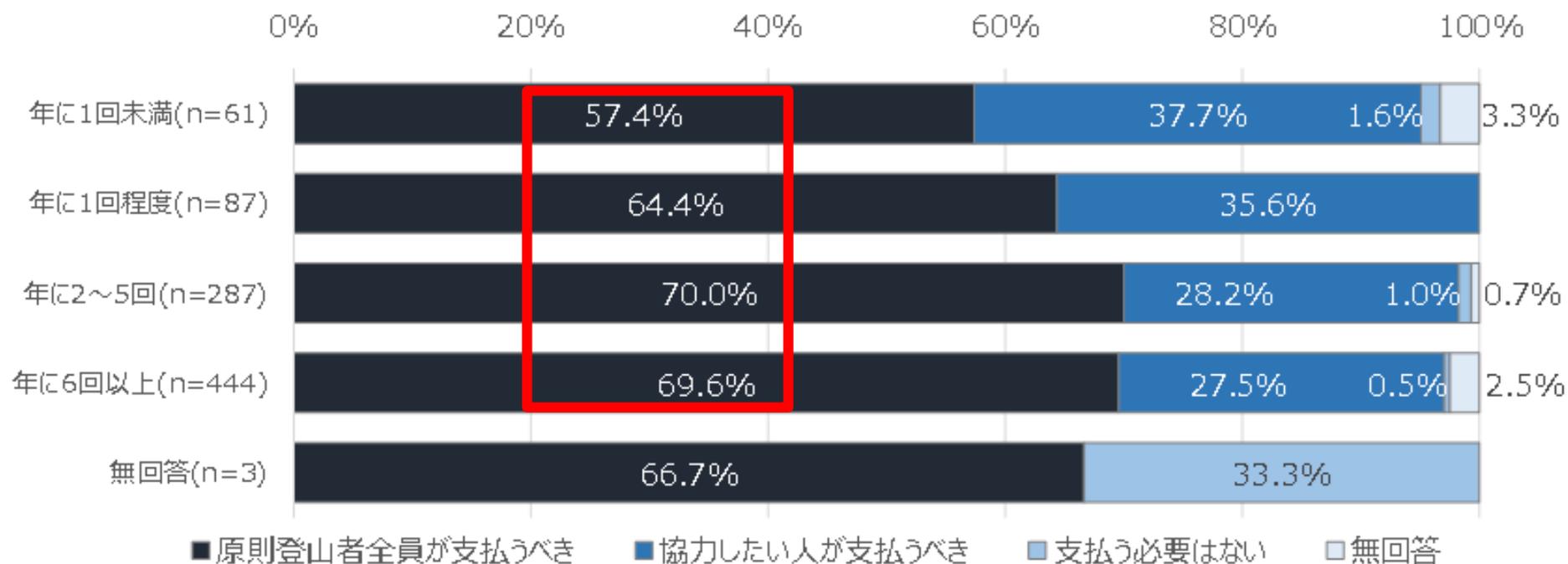
登山道等の施設の適切な管理や自然環境保全のために、登山者が協力金を支払うことをどう思いますか。  
あてはまる番号を1つだけ選択してください。



- 居住地別では、“北海道内”は“北海道外”と比較して「原則登山者全員が支払うべき」の比率が高い。

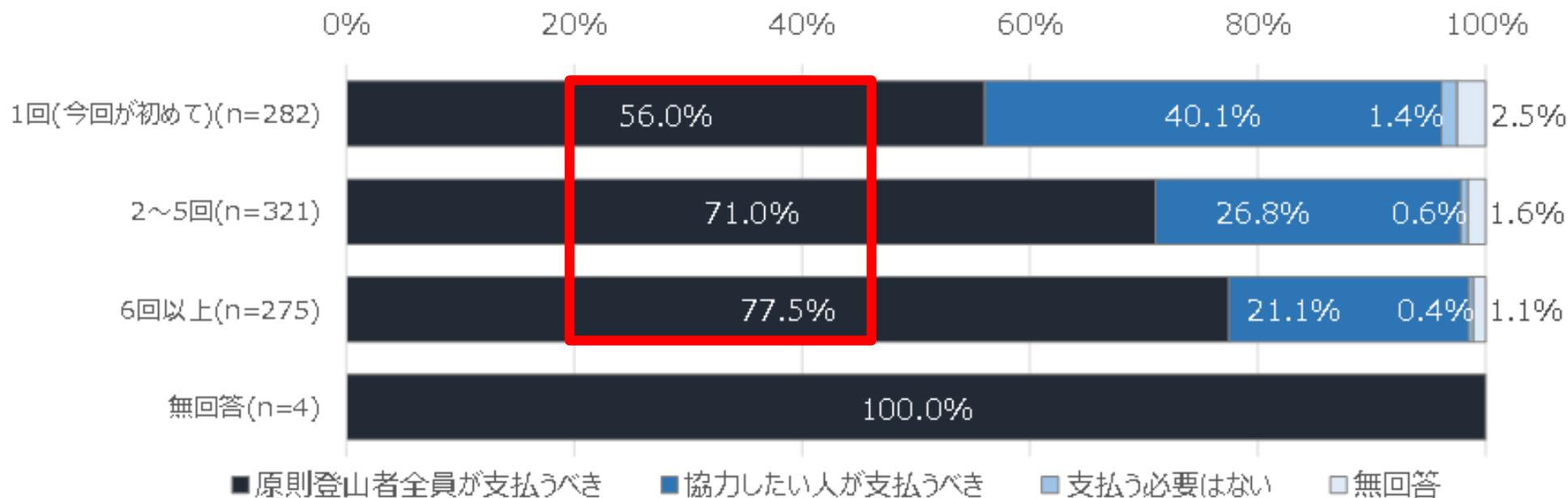
# ①支払いの強制の度合い (登山頻度別)

登山道等の施設の適切な管理や自然環境保全のために、登山者が協力金を支払うことをどう思いますか。  
あてはまる番号を1つだけ選択してください。



# ①支払いの強制の度合い (大雪山での登山経験別)

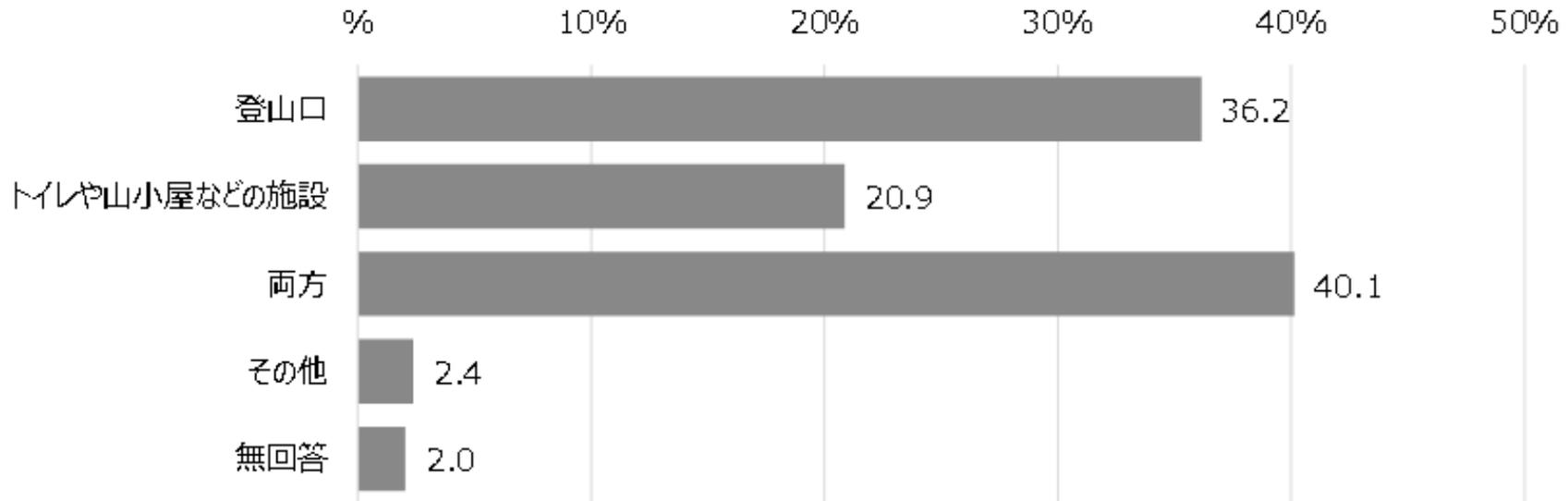
登山道等の施設の適切な管理や自然環境保全のために、登山者が協力金を支払うことをどう思いますか。  
あてはまる番号を1つだけ選択してください。



- 登山頻度別や大雪山での登山経験別では、登山頻度や大雪山での登山経験が多いほど「原則登山者全員が支払うべき」の比率が高い傾向がみられる。

協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

## ②望ましい徴収場所（全体）



### 望ましい徴収場所「その他」の記述内容(21件)

- ビジターセンター(3件)
- 登山道(2件)
- ネットでも(2件)
- Entrance to National Park(2件)
- information center(1件)
- ロープウェイ代金等に含める(1件)
- Start of trails and Ropeway as part of Ropeway reel(1件)
- バス乗車時(1件)
- ホテル(1件)
- 温泉、道の駅など(1件)
- 公平・確実な方法(1件)
- 植物に入らないようにロープ(1件)
- 外国では国道にゲートあり。ここで払う(1件)
- 利用者の多い時期などは 全ての入山者に登山口で支払うよう求めてもいいと思います。それだけ価値のある場所ですし払いたくなければこなければいい 山をあまり知らない人に限って払いたがらないトイレやゴミ等のマナーも悪い(1件)
- 未記入(2件)

協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

## ②望ましい徴収場所（全体）

- 「（登山口とトイレや山小屋などの施設の）両方」が40.1%と最も高く、「登山口」(36.2%)、「トイレや山小屋などの施設」(20.9%)が続く。
- 「その他」として、ビジターセンターや温泉・道の駅といった山麓の集客施設、ロープウェイ代金への上乗せ、バス乗車時等が挙げられた。

協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

## ②望ましい徴収場所（年代別）

	10代・20代 (n=98)	30代 (n=106)	40代 (n=177)	50代 (n=189)	60代 (n=204)	70代・80代 (n=91)	無回答 (n=17)
登山口	18.4	29.2	36.7	34.9	41.2	53.8	35.3
トイレや山小屋などの施設	31.6	22.6	20.3	16.4	19.1	17.6	41.2
両方	48.0	41.5	41.8	47.6	35.3	25.3	23.5
その他	1.0	6.6	4.0	0.5	2.0	1.1	0.0
無回答	1.0	4.7	1.1	1.1	2.9	2.2	0.0

- 年代別では、若い世代ほど「登山口」の比率が低く、「両方」や「トイレや山小屋などの施設」の比率が高くなる傾向がみられる。

## ②望ましい徴収場所 (日本人・外国人別)

協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

	日本人(n=776)	外国人(n=106)
登山口	37.6	25.5
トイレや山小屋などの施設	19.5	31.1
両方	40.6	36.8
その他	1.8	6.6
無回答	1.8	3.8

- 日本人・外国人別では、“外国人”は“日本人”と比較して「登山口」の比率が低く、「トイレや山小屋などの施設」の比率が高い。

協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

## ②望ましい徴収場所（居住地別）

	北海道内 (n=502)	北海道外 (n=269)	海外(n=70)	無回答(n=41)
登山口	36.5	37.9	30.0	31.7
トイレや山小屋などの施設	17.3	23.4	24.3	41.5
両方	43.8	36.8	38.6	19.5
その他	3.0	0.4	5.7	2.4
無回答	1.6	1.5	4.3	7.3

- 居住地別では、“北海道外”は“北海道内”と比較して「トイレや山小屋などの施設」の比率が高い。

協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

## ②望ましい徴収場所（登山頻度別）

	年に1回未満 (n=61)	年に1回程度 (n=87)	年に2~5回 (n=287)	年に6回以上 (n=444)	無回答(n=3)
登山口	41.0	34.5	37.6	34.9	33.3
トイレや山小屋などの施設	19.7	18.4	20.9	21.6	0.0
両方	37.7	42.5	39.4	40.5	33.3
その他	0.0	4.6	2.4	2.0	33.3
無回答	1.6	1.1	2.1	2.3	0.0

- 登山頻度別では、属性による大小はあるものの、大きな傾向の差はみられなかった。

協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

## ②望ましい徴収場所 (大雪山での登山経験別)

	1回(今回が初めて)(n=282)	2~5回(n=321)	6回以上(n=275)	無回答(n=4)
登山口	34.8	34.9	38.9	50.0
トイレや山小屋などの施設	27.7	21.2	13.8	0.0
両方	34.0	41.7	44.4	50.0
その他	2.5	1.6	3.3	0.0
無回答	2.5	1.2	2.5	0.0

- 大雪山での登山経験別では、登山経験が多いほど「トイレや山小屋などの施設」の比率が低くなる傾向がみられる。

## ②望ましい徴収場所 (支払いの強制の度合い別)

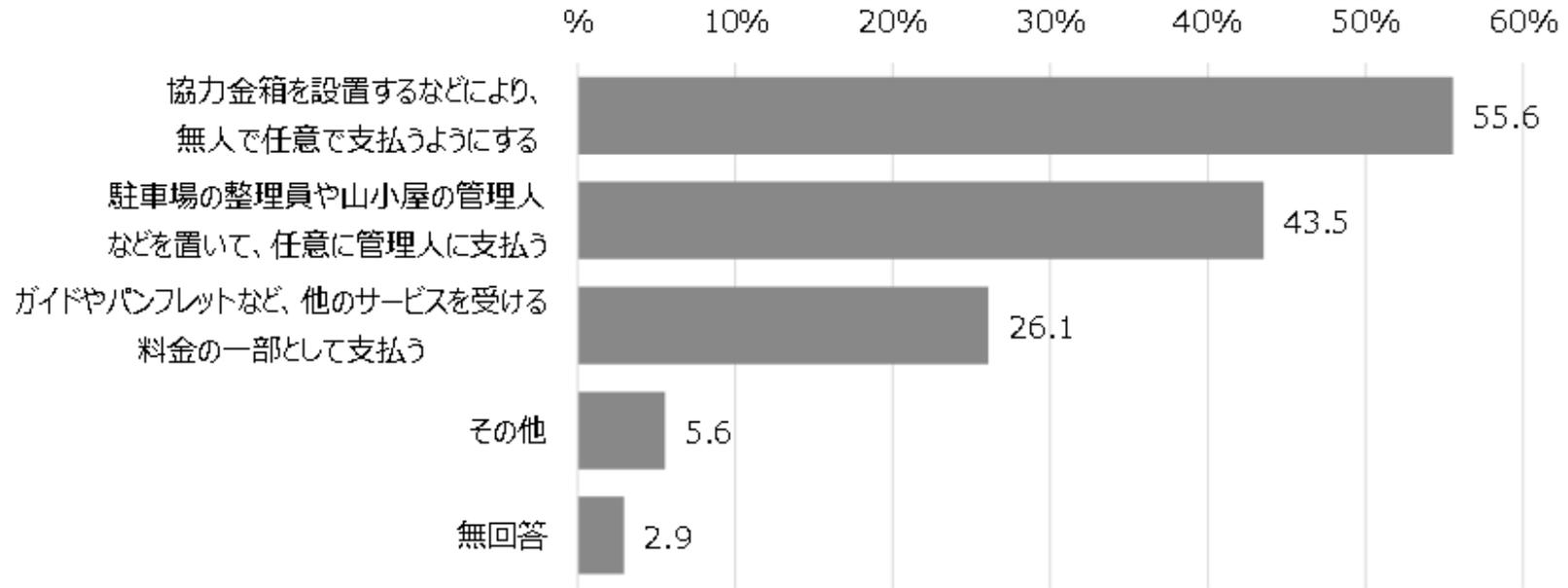
協力金の支払いは、どのような場所で行われるのが望ましいと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

	原則登山者全員が支払うべき(n=603)	協力したい人が支払うべき(n=257)	支払う必要はない(n=7)	無回答(n=15)
登山口	41.8	24.9	28.6	6.7
トイレや山小屋などの施設	14.4	36.2	14.3	20.0
両方	42.1	37.4	0.0	26.7
その他	2.7	1.2	14.3	6.7
無回答	0.8	1.2	42.9	46.7

- 支払いの強制の度合い別では、“原則登山者全員が支払うべき”とした回答者は「両方」あるいは「登山口」を選択する比率が高かった
- “協力したい人が支払うべき”とした回答者は「トイレや山小屋などの施設」を選択する比率が高い。

### ③望ましい徴収方法（全体）

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。



- 「無人で任意で支払う」が55.6%と最も高く、「整理員や管理人に任意で支払う」(43.5%)、「他のサービスを受ける料金の一部として支払う」(26.1%)が続く。
- 「その他」として、ロープウェイ・バス・駐車場等の運賃・料金への上乗せ、インターネット・アプリ・スマートフォン等の活用等その他、強制的な税の徴収といった回答もみられた。

### ③望ましい徴収方法（全体）

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。

#### 「その他」の記述内容（49件）

- ロープウェイ・駐車場・バス・ケーブルカーなどの料金に上乗せして徴収する(5件)
- 入山料として支払いを受ける(4件)
- インターネットの活用(3件)
- Public taxes(2件)
- 登山口で強制的に徴収する(2件)
- 登山口で全員から支払いを受ける(2件)
- 入山料として強制的に徴収する(2件)
- クラウドファンディングの活用(2件)
- スマートフォンを活用しての支払い(2件)
- 全員が払えば良いと思う(2件)
- 登山道への道路利用料金(1件)
- 登山口で払う(1件)
- 登山口などで無人で任意で払うが登山口で入山の記入の際、チェック欄をつくる(1件)
- 登山口に係員を配置しパンフレットを渡す際に協力金を徴収し、その際にゴミ棄てやトイレの説明をしゴミ棄てやトイレ行為などが確認された場合は反則金を徴収するようにしたほうが良い。(1件)
- Entrance to National Park-staff(1件)
- 入山の際、記入する場所に人を置いて記入と同時に代金支払い(1件)
- トイレがおわりその後、金箱に払う(1件)
- トイレのそばは支払いやすいかも(1件)
- アプリの活用(1件)
- 登山者全員が支払い、支払った人に目立つ様なシールワッペン、ペナントなどを配り、リュック・胸・帽子に付ける(1件)
- 税金のようになりにかなり強制的に取れる方法でない(1件)
- ビジターセンターで利用許可書を買う(1件)
- ツアーは支払いすべき(1件)
- 人手不足のおり、入山時に登山カードの自動発行、切符販売機(1件)
- 目的税を新たに導入する(1件)
- YEAR PASS to DAISETSUZAN(1件)
- 持っていかれない様に(1件)
- どのような方法が望ましいか難しい(2件)
- わからない(1件)
- 未記入(3件)

### ③望ましい徴収方法 (年代別)

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。

	10代・20代 (n=98)	30代 (n=106)	40代 (n=177)	50代 (n=189)	60代 (n=204)	70代・80代 (n=91)	無回答 (n=17)
協力金箱を設置するなどにより、 無人で任意で支払うようにする	67.3	61.3	53.7	56.1	49.0	54.9	47.1
駐車場の整理員や山小屋の管理人 などを置いて、任意に管理人に支払う	39.8	37.7	46.3	44.4	44.1	45.1	47.1
ガイドやパンフレットなど、他のサービスを受け る	40.8	27.4	27.1	21.7	26.5	15.4	23.5
その他	5.1	10.4	5.1	3.7	4.4	7.7	5.9
無回答	3.1	0.9	2.8	2.6	2.9	5.5	5.9

- 年代別では、若い世代ほど「無人で任意で支払う」の比率が高く、「整理員や管理人に任意で支払う」の比率が低い傾向がみられる。
- “10代・20代”は他の世代と比較して「他のサービスを受ける料金の一部として支払う」を選択する比率が高く4割以上となった。

### ③望ましい徴収方法 (日本人・外国人別)

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。

	日本人(n=776)	外国人(n=106)
協力金箱を設置するなどにより、 無人で任意で支払うようにする	55.3	57.5
駐車場の整理員や山小屋の管理人 などを置いて、任意に管理人に支払う	44.6	35.8
ガイドやパンフレットなど、他のサービスを受け る	23.7	43.4
その他	5.2	8.5
無回答	2.6	5.7

- 日本人・外国人別では、“日本人”と比較して“外国人”は「他のサービスを受ける料金の一部として支払う」を選択する比率が高い。

### ③望ましい徴収方法 (居住地別)

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。

	北海道内 (n=502)	北海道外 (n=269)	海外(n=70)	無回答(n=41)
協力金箱を設置するなどにより、 無人で任意で支払うようにする	55.2	56.5	61.4	43.9
駐車場の整理員や山小屋の管理人 などを置いて、任意に管理人に支払う	48.0	37.9	31.4	46.3
ガイドやパンフレットなど、他のサービスを受け る	23.1	24.9	44.3	39.0
その他	5.8	5.2	5.7	4.9
無回答	1.8	3.3	5.7	9.8

- 居住地別では、“北海道外”は“北海道内”と比較して「整理員や管理人に任意で支払う」の比率が低い。

### ③望ましい徴収方法 (登山頻度別)

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。

	年に1回未満 (n=61)	年に1回程度 (n=87)	年に2~5回 (n=287)	年に6回以上 (n=444)	無回答(n=3)
協力金箱を設置するなどにより、 無人で任意で支払うようにする	54.1	55.2	56.8	55.0	66.7
駐車場の整理員や山小屋の管理人 などを置いて、任意に管理人に支払う	41.0	41.4	42.9	44.8	33.3
ガイドやパンフレットなど、他のサービスを受け る	21.3	35.6	29.3	23.0	0.0
その他	0.0	8.0	3.5	7.2	0.0
無回答	3.3	2.3	2.8	2.9	33.3

- 登山頻度別や大雪山での登山経験別では、属性による大小はあるものの、大きな傾向の差はみられなかった。

### ③望ましい徴収方法 (大雪山での登山経験別)

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。

	1回(今回が初めて)(n=282)	2~5回(n=321)	6回以上 (n=275)	無回答(n=4)
協力金箱を設置するなどにより、 無人で任意で支払うようにする	55.3	55.5	56.7	0.0
駐車場の整理員や山小屋の管理人 などを置いて、任意に管理人に支払う	35.8	44.2	50.9	25.0
ガイドやパンフレットなど、他のサービスを受け る	31.6	26.5	20.0	25.0
その他	5.7	4.0	6.5	50.0
無回答	3.9	3.1	1.8	0.0

協力金の支払いをお願いするに当たって、どのような方法が望ましいと思いますか。  
あてはまる番号すべて選択してください。

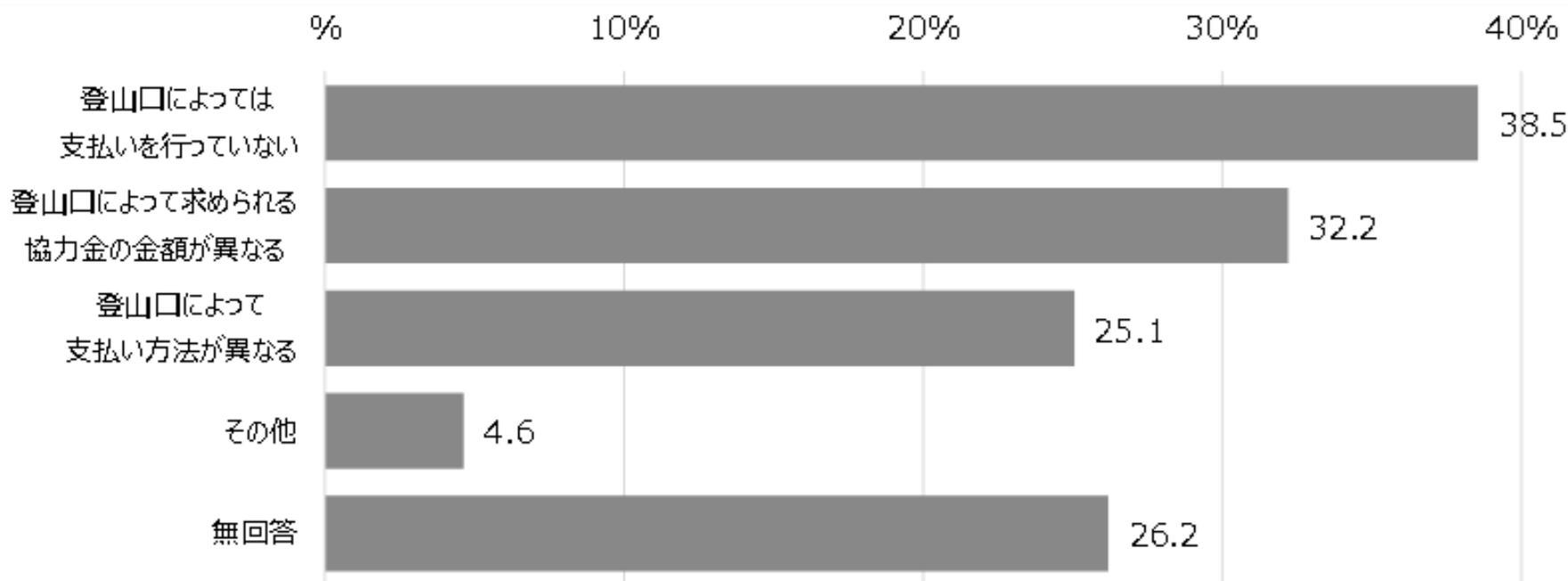
### ③望ましい徴収方法 (支払いの強制の度合い別)

	原則登山者全員が支払うべき(n=603)	協力したい人が支払うべき(n=257)	支払う必要はない(n=7)	無回答(n=15)
協力金箱を設置するなどにより、無人で任意で支払うようにする	50.2	70.8	28.6	20.0
駐車場の整理員や山小屋の管理人などを置いて、任意に管理人に支払う	50.1	30.7	0.0	20.0
ガイドやパンフレットなど、他のサービスを受ける料金の一部として支払う	25.9	27.2	28.6	13.3
その他	6.8	2.3	28.6	0.0
無回答	2.0	1.2	14.3	66.7

- 支払いの強制の度合い別では、“原則登山者全員が支払うべき”とした回答者と比較して、“協力したい人が支払うべき”とした回答者は「無人で任意で支払う」の比率が高く、「整理員や管理人に任意で支払う」の比率が低い。

## ④抵抗を感じる徴収方法（全体）

協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。



協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

## ④抵抗を感じる徴収方法（全体）

### 「その他」の記述内容（41件）

- 抵抗感なし・なし・こだわらない(10件)
- 協力金利用方法・収支が明確ではない(3件)
- 強制・義務化されると多少抵抗がある(2件)
- 二重・三重の支払い(1件)
- 今日は200円の徴収だったがこれ以上高くなると抵抗ある(1件)
- 施設でしか支払いができない現状では、協力しづらいと思います(1件)
- 全部統一してくれると分かりやすい(1件)
- 払う人、払わない人がいる(1件)
- 有名な山で集めればよい(1件)
- 国立公園として取るなら取る、取らないなら取らない(1件)
- 各自の対応 自由で良い(1件)
- 上と同じ、全員からもらう(1件)
- 外国人に対しての対応のしかた(1件)
- メイン登山口だけ、係員でやるべき(1件)
- 協力金??名が既に間違いです。保護税でいいのです。(1件)
- restrooms shouldn't cost money, and if they do improve them. (1件)
- Don't agree to pay for hiking(1件)
- Not at all(1件)
- わからない(1件)
- 未記入(10件)

協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

## ④抵抗を感じる徴収方法（全体）

- 「登山口によっては支払いを行っていない」が38.5%と最も高く、「登山口によって求められる協力金の金額が異なる」(32.2%)、「登山口によって支払い方法が異なる」(25.1%)が続く。
- 「その他」として、“抵抗感なし・こだわらない”とする回答が複数みられたほか、協力金の使途が明確ではないことや強制されることへの抵抗感に関する回答がみられた。「無回答」が26.2%と高い比率を示しているが、“抵抗を感じない”とする回答が複数含まれていると推察される。

## ④抵抗を感じる徴収方法 (年代別)

協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

	10代・20代 (n=98)	30代 (n=106)	40代 (n=177)	50代 (n=189)	60代 (n=204)	70代・80代 (n=91)	無回答 (n=17)
登山口によっては 支払いを行っていない	21.4	39.6	41.2	42.3	38.7	39.6	52.9
登山口によって求められる 協力金の金額が異なる	46.9	35.8	35.0	29.1	30.9	20.9	5.9
登山口によって 支払い方法が異なる	21.4	32.1	24.9	27.0	24.0	23.1	5.9
その他	3.1	2.8	2.3	5.8	5.4	7.7	11.8
無回答	25.5	27.4	23.2	25.4	27.9	27.5	35.3

- 年代別では、若い世代ほど「登山口によっては支払いを行っていない」の比率が低く、「登山口によって求められる協力金の金額が異なる」の比率が高くなる傾向がみられる。

## ④抵抗を感じる徴収方法 (日本人・外国人別)

協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

	日本人(n=776)	外国人(n=106)
登山口によっては支払いを行っていない	41.4	17.9
登山口によって求められる協力金の金額が異なる	32.5	30.2
登山口によって支払い方法が異なる	25.3	23.6
その他	4.6	4.7
無回答	24.2	40.6

- 日本人・外国人別では、“日本人”と比較して“外国人”は「登山口によっては支払いを行っていない」を選択する比率が低い。

## ④抵抗を感じる徴収方法 (居住地別)

協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

	北海道内 (n=502)	北海道外 (n=269)	海外(n=70)	無回答(n=41)
登山口によっては 支払いを行っていない	40.8	40.5	17.1	34.1
登山口によって求められる 協力金の金額が異なる	30.5	37.9	34.3	12.2
登山口によって 支払い方法が異なる	24.5	27.1	30.0	9.8
その他	5.0	4.5	0.0	9.8
無回答	25.7	21.9	40.0	36.6

- 居住地別では、“北海道内”と“北海道外”で大きな傾向の差はみられなかった。

## ④抵抗を感じる徴収方法 (登山頻度別)

協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

	年に1回未満 (n=61)	年に1回程度 (n=87)	年に2~5回 (n=287)	年に6回以上 (n=444)	無回答(n=3)
登山口によっては 支払いを行っていない	36.1	40.2	34.1	41.4	33.3
登山口によって求められる 協力金の金額が異なる	34.4	39.1	31.4	31.3	0.0
登山口によって 支払い方法が異なる	19.7	21.8	26.8	25.5	0.0
その他	1.6	10.3	5.2	3.6	0.0
無回答	23.0	17.2	28.2	26.8	66.7

- 登山頻度別や大雪山での登山経験別では、属性による大小はあるものの、大きな傾向の差はみられなかった。

## ④抵抗を感じる徴収方法 (大雪山での登山経験別)

協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

	1回(今回が初めて)(n=282)	2~5回(n=321)	6回以上(n=275)	無回答(n=4)
登山口によっては支払いを行っていない	35.8	37.4	42.5	50.0
登山口によって求められる協力金の金額が異なる	34.8	33.3	28.4	25.0
登山口によって支払い方法が異なる	25.5	24.3	25.1	50.0
その他	3.2	5.3	5.5	0.0
無回答	27.3	25.9	25.8	0.0

## ④抵抗を感じる徴収方法 (支払いの強制の度合い別)

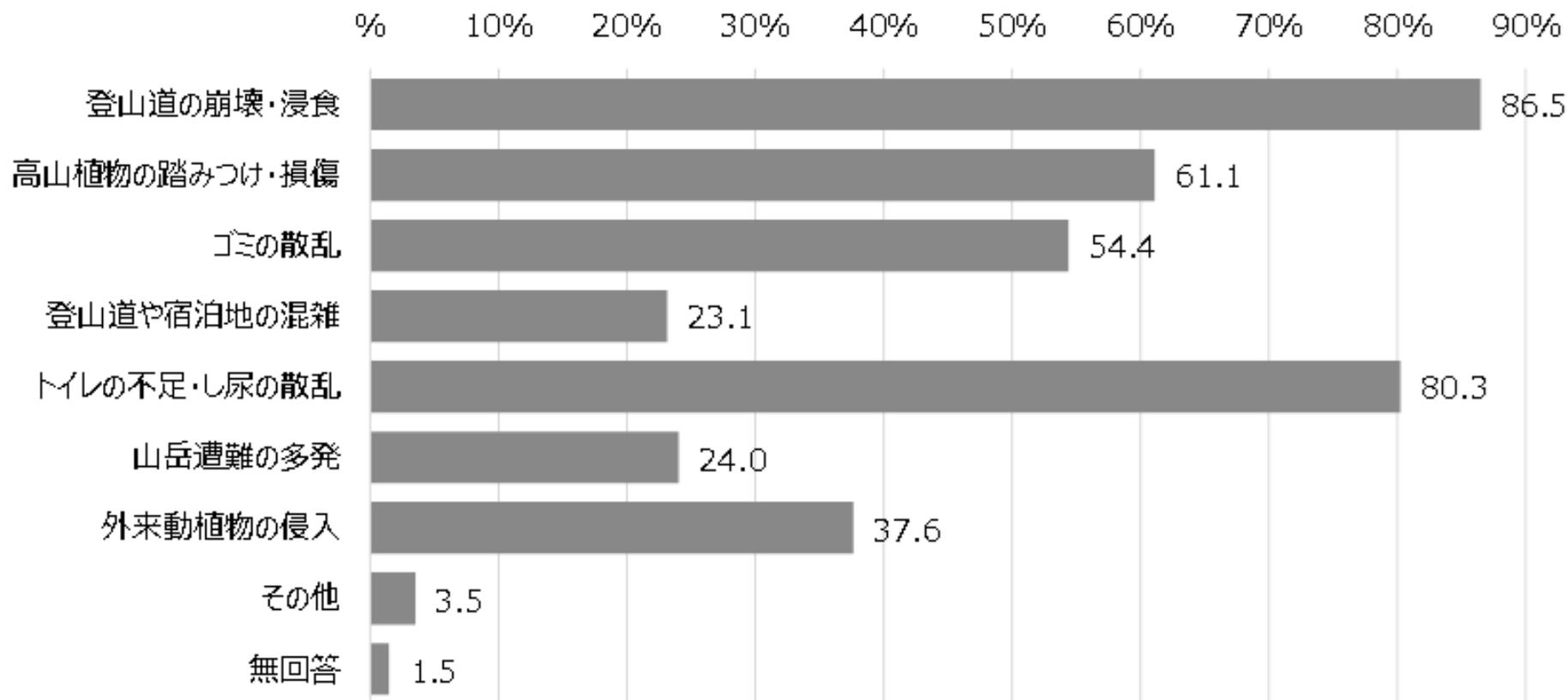
協力金を収受する方法について、あなたが抵抗があると感じる方法は次のうちどれですか。当てはまる番号をすべて選択してください。

	原則登山者全員が支払うべき(n=603)	協力したい人が支払うべき(n=257)	支払う必要はない(n=7)	無回答(n=15)
登山口によっては支払いを行っていない	44.1	25.7	71.4	20.0
登山口によって求められる協力金の金額が異なる	32.3	31.9	42.9	26.7
登山口によって支払い方法が異なる	24.5	26.8	28.6	13.3
その他	4.0	6.6	0.0	0.0
無回答	24.9	27.2	14.3	66.7

- 支払いの強制の度合い別では、“原則登山者全員が支払うべき”とした回答者と比較して、“協力したい人が支払うべき”とした回答者は「登山口によっては支払いを行っていない」の比率が低い。

## ⑤ 支払っても良いと思う課題 (全体)

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。



## ⑤支払っても良いと思う課題 (全体)

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

### 「その他」の記述内容 (31件)

- 標識、案内板、規制ロープ等(4件)
- 避難小屋の整備(2件)
- 自然保護(2件)
- 黒岳山頂500円でも良い(2件)
- 草・木の案内(1件)
- 道の整備(1件)
- 登山道の草刈り(1件)
- 盗掘防止(1件)
- 課題解決のための人材育成・確保(1件)
- 適切に使用すればよい(1件)
- 維持するに必要な全員から平等にもらう(1件)
- マナー啓発(1件)
- 救助活動(1件)
- ハイマツの繁茂(登山者の目をねらってくる)(1件)
- ゴミはおちていませんでした(1件)
- 山を管理・整備して下さっている方々に(1件)
- monitoring of wildlife(1件)
- toilet(1件)
- I'm not agree(1件)
- No(1件)
- わからない(1件)
- 未記入(4件)

## ⑤支払っても良いと思う課題 (全体)

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

- 8割以上の回答者が「登山道の崩壊・浸食」(86.5%)、「トイレの不足・し尿の散乱」(80.3%)を選択した。
- 次いで、半数以上の回答者が「高山植物の踏みつけ・損傷」(61.1%)、「ゴミの散乱」(54.4%)を選択した。

## ⑤支払っても良いと思う課題（年代別）

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
 あてはまる番号をすべて選択してください。

	10代・20代 (n=98)	30代 (n=106)	40代 (n=177)	50代 (n=189)	60代 (n=204)	70代・80代 (n=91)	無回答 (n=17)
登山道の崩壊・浸食	81.6	82.1	87.6	88.4	85.8	91.2	94.1
高山植物の踏みつけ・損傷	64.3	60.4	63.3	59.3	57.8	62.6	76.5
ゴミの散乱	66.3	58.5	56.5	55.0	45.6	48.4	70.6
登山道や宿泊地の混雑	40.8	33.0	24.9	19.6	15.7	11.0	35.3
トイレの不足・し尿の散乱	80.6	70.8	80.8	84.7	80.9	78.0	88.2
山岳遭難の多発	48.0	26.4	23.2	22.2	16.7	15.4	35.3
外来動植物の侵入	44.9	41.5	40.7	39.7	27.0	37.4	47.1
その他	2.0	6.6	3.4	1.1	3.9	6.6	0.0
無回答	2.0	0.9	1.1	1.6	2.0	1.1	0.0

- 年代別では、「登山道の崩壊・浸食」や「トイレの不足・し尿の散乱」は年代の違いによる大きな差はみられないが、「ゴミの散乱」、「登山道や宿泊地の混雑」、「山岳遭難の多発」、「外来動植物の侵入」は若い世代ほど比率が高くなる傾向がみられる。

## ⑤支払っても良いと思う課題 (日本人・外国人別)

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

	日本人(n=776)	外国人(n=106)
登山道の崩壊・浸食	88.0	75.5
高山植物の踏みつけ・損傷	60.6	65.1
ゴミの散乱	53.2	63.2
登山道や宿泊地の混雑	21.0	38.7
トイレの不足・し尿の散乱	82.2	66.0
山岳遭難の多発	22.7	34.0
外来動植物の侵入	36.5	46.2
その他	3.5	3.8
無回答	1.3	2.8

- 日本人・外国人別では、“日本人”と比較して“外国人”は「登山道の崩壊・浸食」や「トイレの不足・し尿の散乱」を選択する比率が低く、「ゴミの散乱」、「登山道や宿泊地の混雑」、「山岳遭難の多発」、「外来動植物の侵入」を選択する比率が高い。

## ⑤支払っても良いと思う課題 (居住地別)

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

	北海道内 (n=502)	北海道外 (n=269)	海外(n=70)	無回答(n=41)
登山道の崩壊・浸食	88.0	88.1	78.6	70.7
高山植物の踏みつけ・損傷	62.5	58.0	68.6	51.2
ゴミの散乱	53.4	53.9	64.3	53.7
登山道や宿泊地の混雑	20.3	23.0	35.7	36.6
トイレの不足・し尿の散乱	81.3	83.6	67.1	68.3
山岳遭難の多発	21.3	25.3	34.3	31.7
外来動植物の侵入	35.9	39.0	51.4	26.8
その他	3.6	3.3	5.7	0.0
無回答	1.2	0.7	1.4	9.8

- 居住地別では、“北海道内”と“北海道外”で大きな傾向の差はみられなかった。

## ⑤支払っても良いと思う課題 (登山頻度別)

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

	年に1回未満 (n=61)	年に1回程度 (n=87)	年に2~5回 (n=287)	年に6回以上 (n=444)	無回答(n=3)
登山道の崩壊・浸食	85.2	82.8	84.3	88.7	100.0
高山植物の踏みつけ・損傷	54.1	63.2	59.6	62.6	66.7
ゴミの散乱	55.7	62.1	54.4	52.7	66.7
登山道や宿泊地の混雑	23.0	28.7	22.0	22.7	33.3
トイレの不足・し尿の散乱	68.9	82.8	78.4	82.7	66.7
山岳遭難の多発	26.2	32.2	24.0	22.3	0.0
外来動植物の侵入	34.4	33.3	34.8	40.3	100.0
その他	3.3	6.9	3.1	3.2	0.0
無回答	1.6	0.0	1.4	1.8	0.0

- 登山頻度別や大雪山での登山経験別では、属性による大小はあるものの、大きな傾向の差はみられなかった。

## ⑤支払っても良いと思う課題 (大雪山での登山経験別)

どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

	1回(今回が初めて)(n=282)	2~5回(n=321)	6回以上(n=275)	無回答(n=4)
登山道の崩壊・浸食	80.1	86.9	92.7	75.0
高山植物の踏みつけ・損傷	58.5	59.2	66.2	50.0
ゴミの散乱	56.7	54.2	53.1	0.0
登山道や宿泊地の混雑	24.8	22.7	22.2	0.0
トイレの不足・し尿の散乱	75.5	79.1	86.9	50.0
山岳遭難の多発	28.0	23.4	21.1	0.0
外来動植物の侵入	37.6	35.8	39.6	50.0
その他	3.5	2.8	4.4	0.0
無回答	1.8	1.2	1.5	0.0

## ⑤支払っても良いと思う課題 (支払いの強制の度合い別)

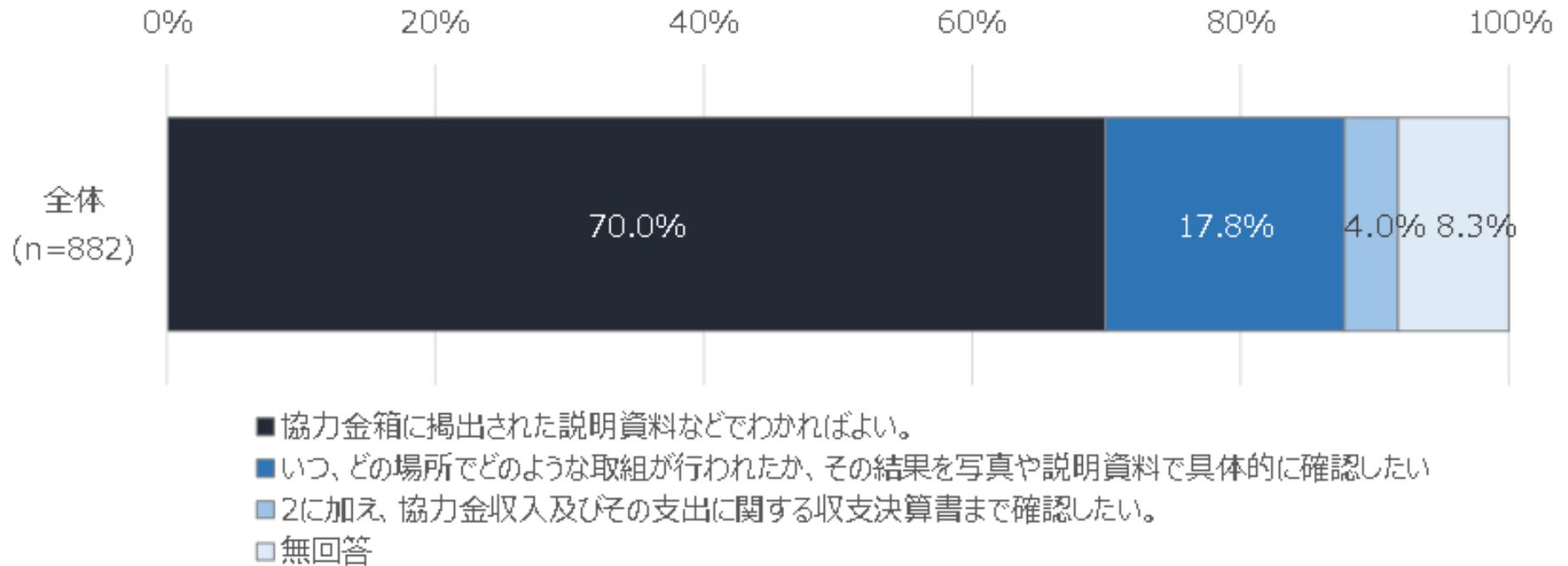
どのような課題を解決するためであれば協力金を支払っても良いと思いますか。  
あてはまる番号をすべて選択してください。

	原則登山者全員が支払うべき(n=603)	協力したい人が支払うべき(n=257)	支払う必要はない(n=7)	無回答(n=15)
登山道の崩壊・浸食	91.4	79.0	28.6	46.7
高山植物の踏みつけ・損傷	65.7	52.9	14.3	40.0
ゴミの散乱	56.2	52.9	14.3	26.7
登山道や宿泊地の混雑	23.9	22.2	0.0	20.0
トイレの不足・し尿の散乱	85.9	71.2	14.3	40.0
山岳遭難の多発	23.9	24.9	0.0	26.7
外来動植物の侵入	39.6	33.5	28.6	33.3
その他	3.5	2.7	28.6	6.7
無回答	0.5	0.4	14.3	53.3

- 支払いの強制の度合い別では、“原則登山者全員が支払うべき”とした回答者と比較して“協力したい人が支払うべき”とした回答者は各項目の選択比率が全般的に低めではあるものの、両者に大きな傾向の差はみられなかった。

## ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度（全体）

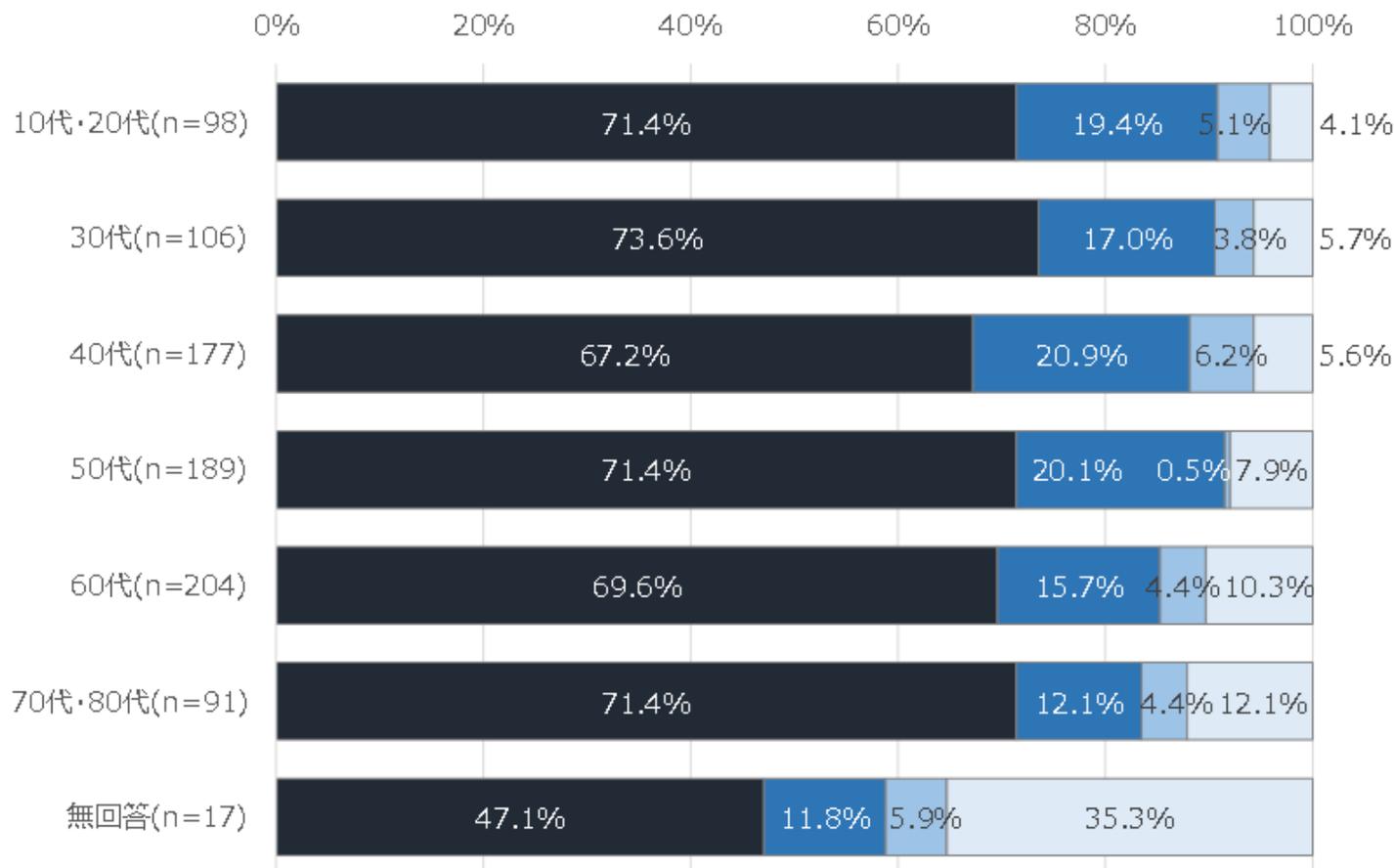
あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。



- 7割の回答者が「協力金箱に掲出された説明資料などでわかればよい」を選択した。

## ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度（年代別）

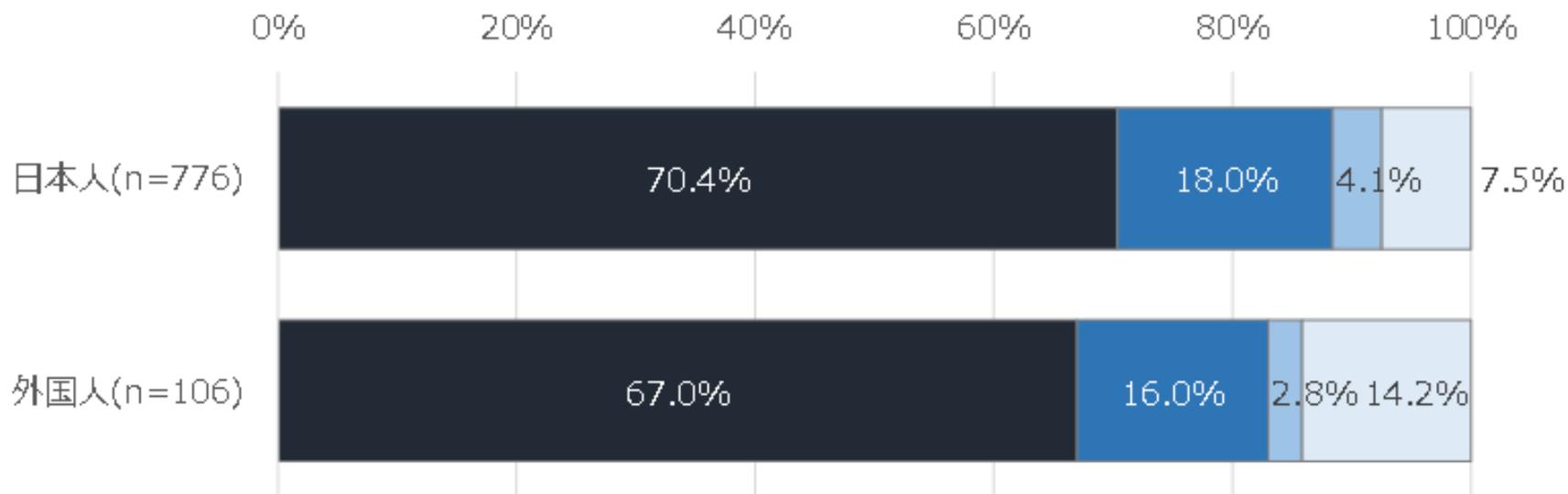
あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。



- 協力金箱に掲出された説明資料などでわかればよい。
- いつ、どの場所でどのような取組が行われたか、その結果を写真や説明資料で具体的に確認したい
- 2に加え、協力金収入及びその支出に関する収支決算書まで確認したい。
- 無回答

## ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度 (日本人・外国人別)

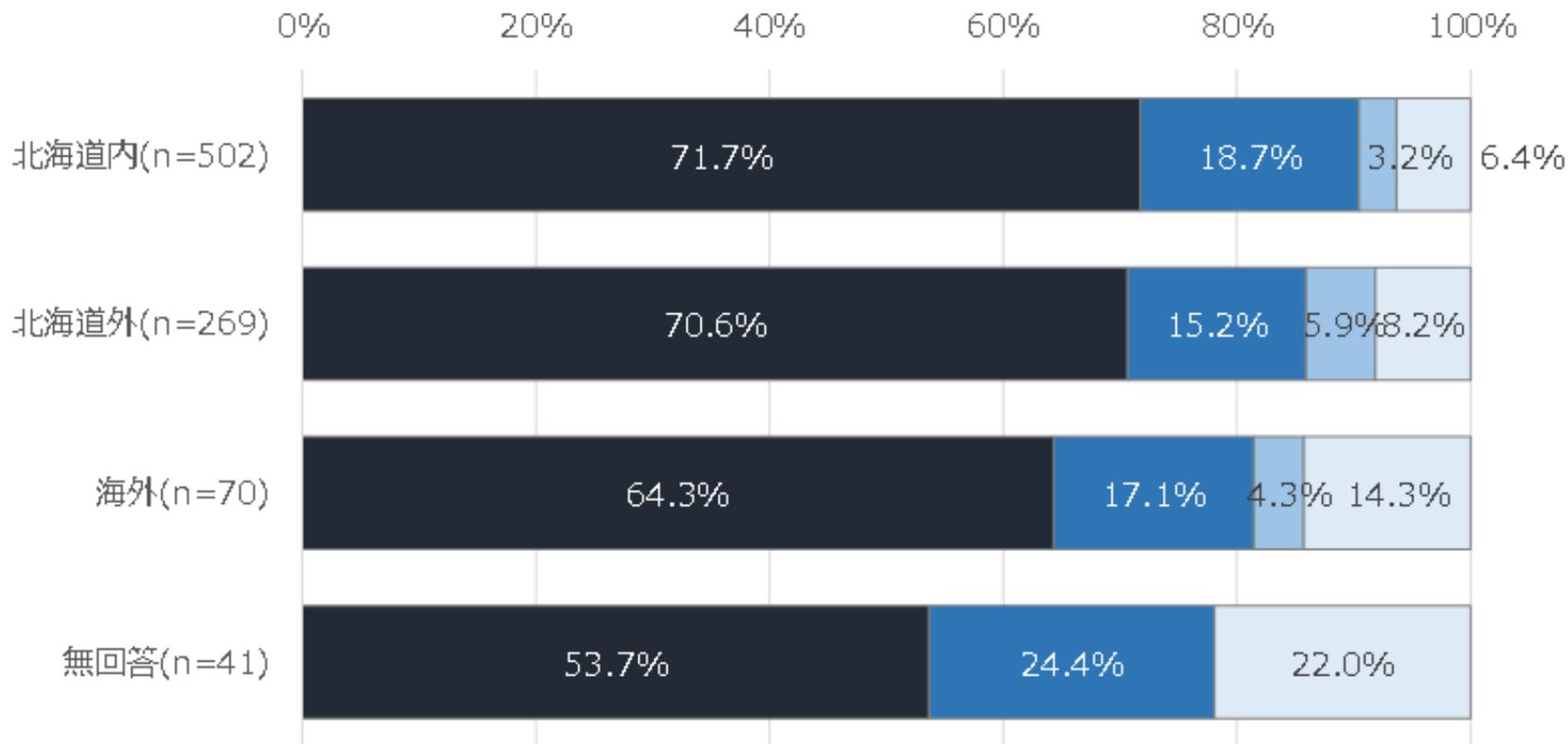
あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。



- 協力金箱に掲出された説明資料などでわかればよい。
- いつ、どの場所でどのような取組が行われたか、その結果を写真や説明資料で具体的に確認したい
- 2に加え、協力金収入及びその支出に関する収支決算書まで確認したい。
- 無回答

## ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度（居住地別）

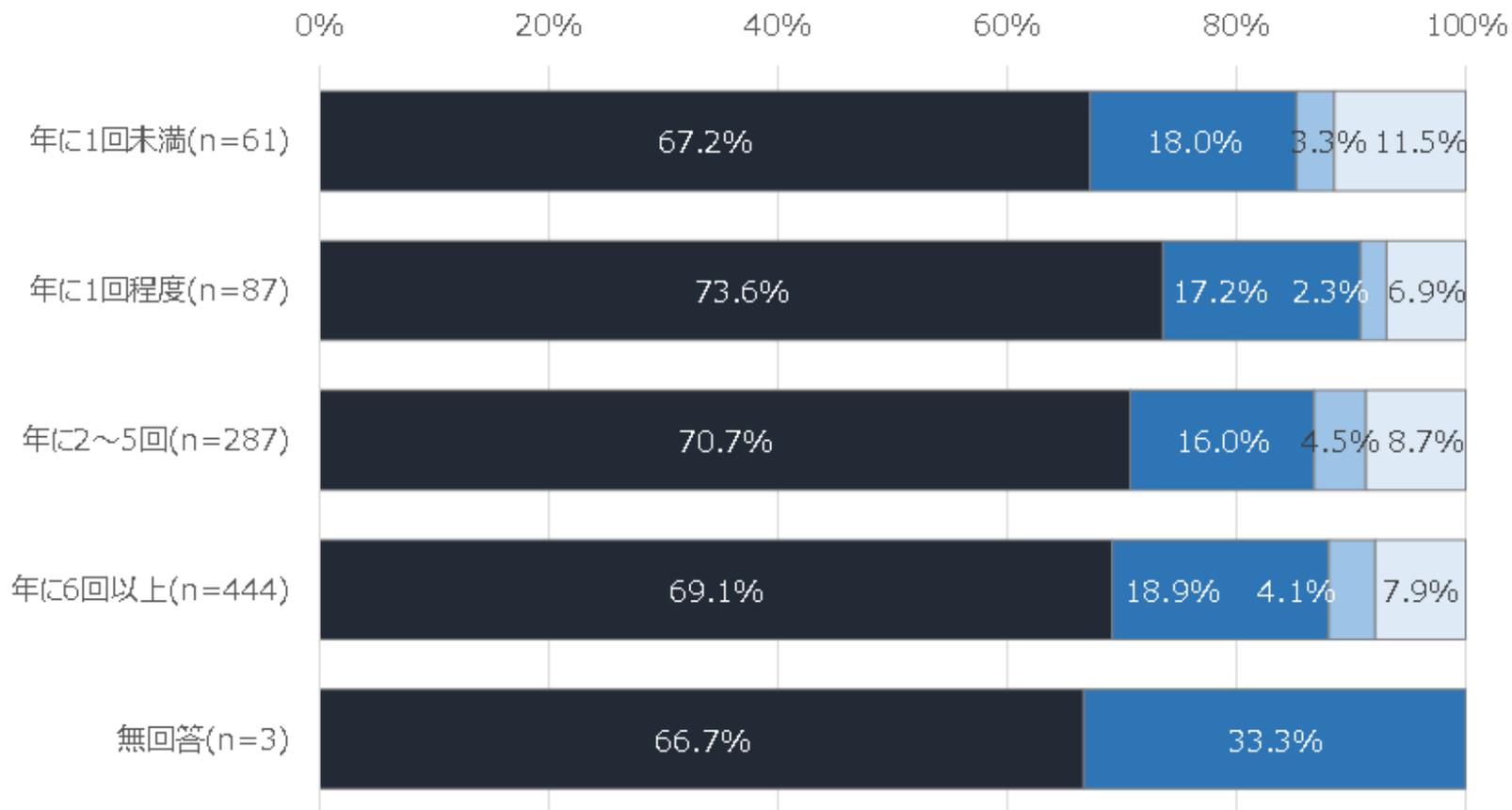
あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。



- 協力金箱に掲出された説明資料などでわかればよい。
- 1 1つ、どの場所でどのような取組が行われたか、その結果を写真や説明資料で具体的に確認したい
- 2 2に加え、協力金収入及びその支出に関する収支決算書まで確認したい。
- 3 3
- 4 4
- 無回答

## ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度（登山頻度別）

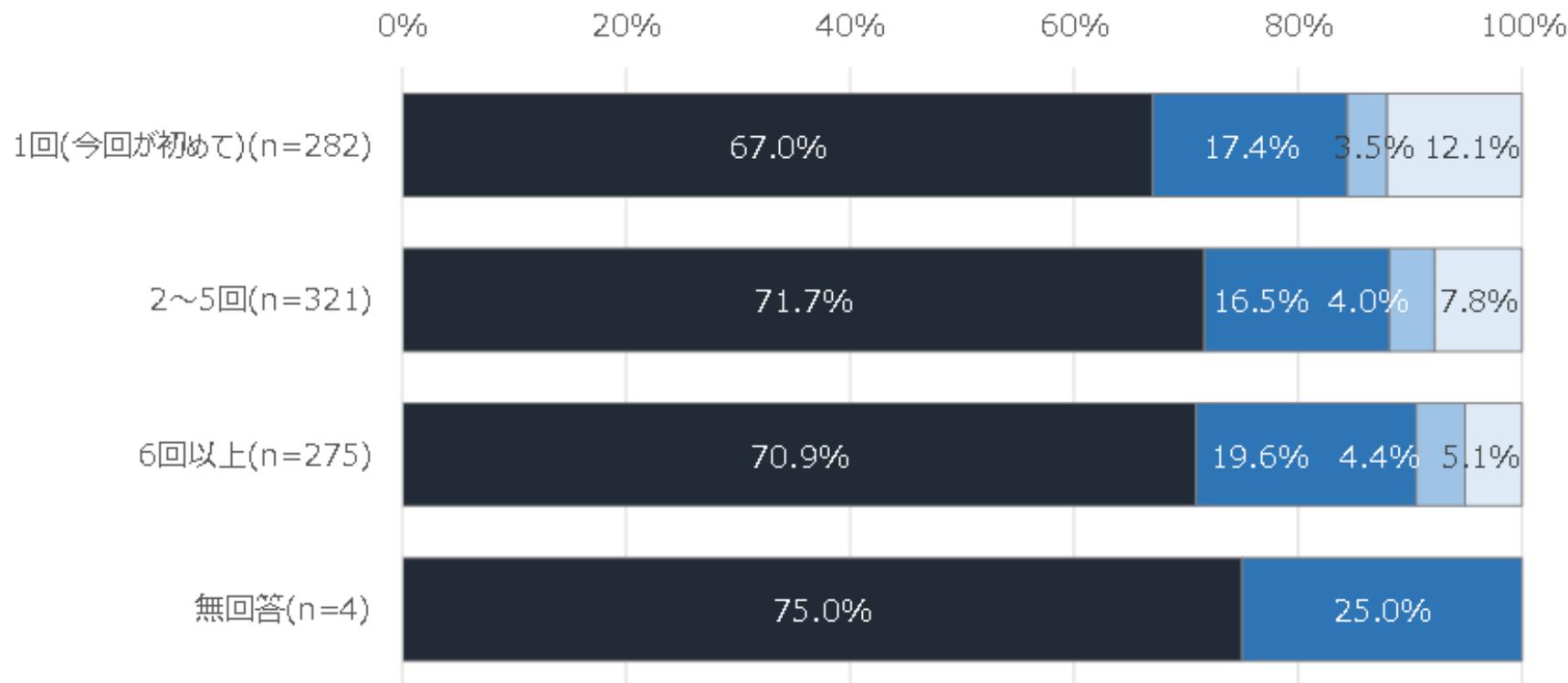
あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。



- 協力金箱に掲出された説明資料などでわかればよい。
- いつ、どの場所でどのような取組が行われたか、その結果を写真や説明資料で具体的に確認したい
- 2に加え、協力金収入及びその支出に関する収支決算書まで確認したい。
- 無回答

## ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度 (大雪山での登山経験別)

あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。



- 協力金箱に掲出された説明資料などでわかればよい。
- いつ、どの場所でのどのような取組が行われたか、その結果を写真や説明資料で具体的に確認したい
- 2に加え、協力金収入及びその支出に関する収支決算書まで確認したい。
- 無回答

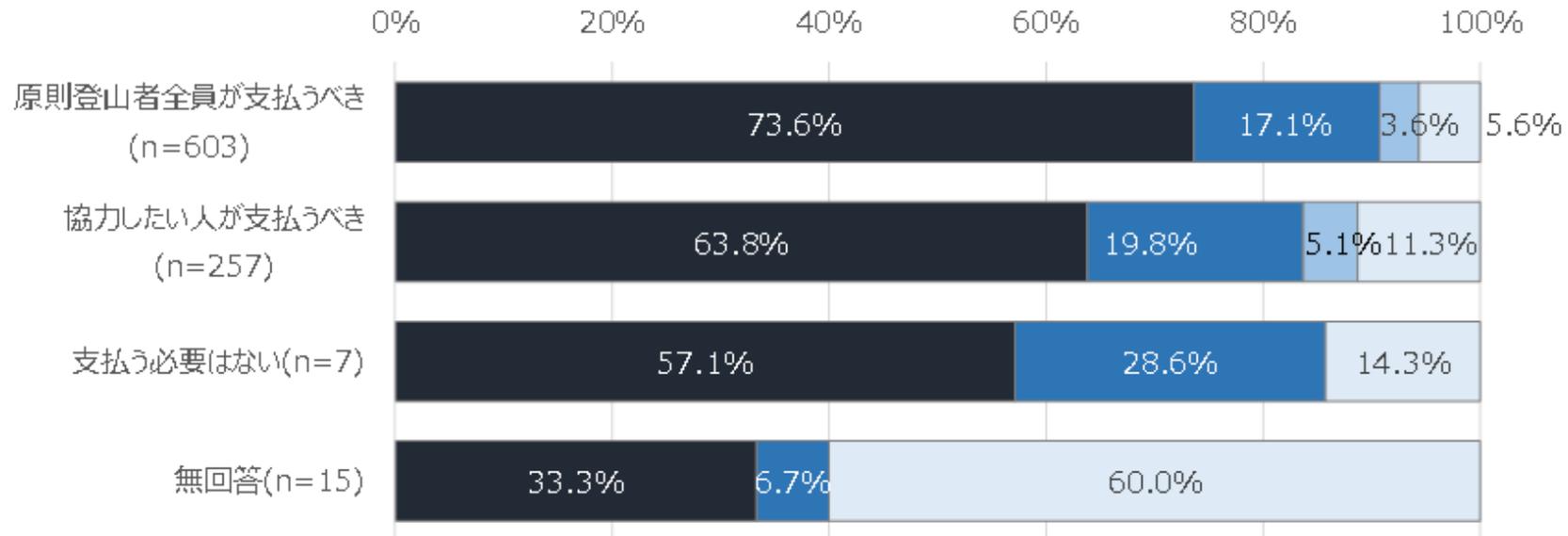
## ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度 (大雪山での登山経験別)

あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。

- 年代別、日本人・外国人別、居住地別、登山頻度別、大雪山での登山経験別では、属性による大小はあるものの、大きな傾向の差はみられなかった。

# ⑥支払った協力金の使途に関する 情報提供の程度 (支払いの強制の度合い別)

あなたが協力金を支払った場合、集められた協力金が具体的に何に対して支出されるか、どの程度まで知りたいと考えますか？  
あなたの考えに最も近い番号を1つだけ選択してください。

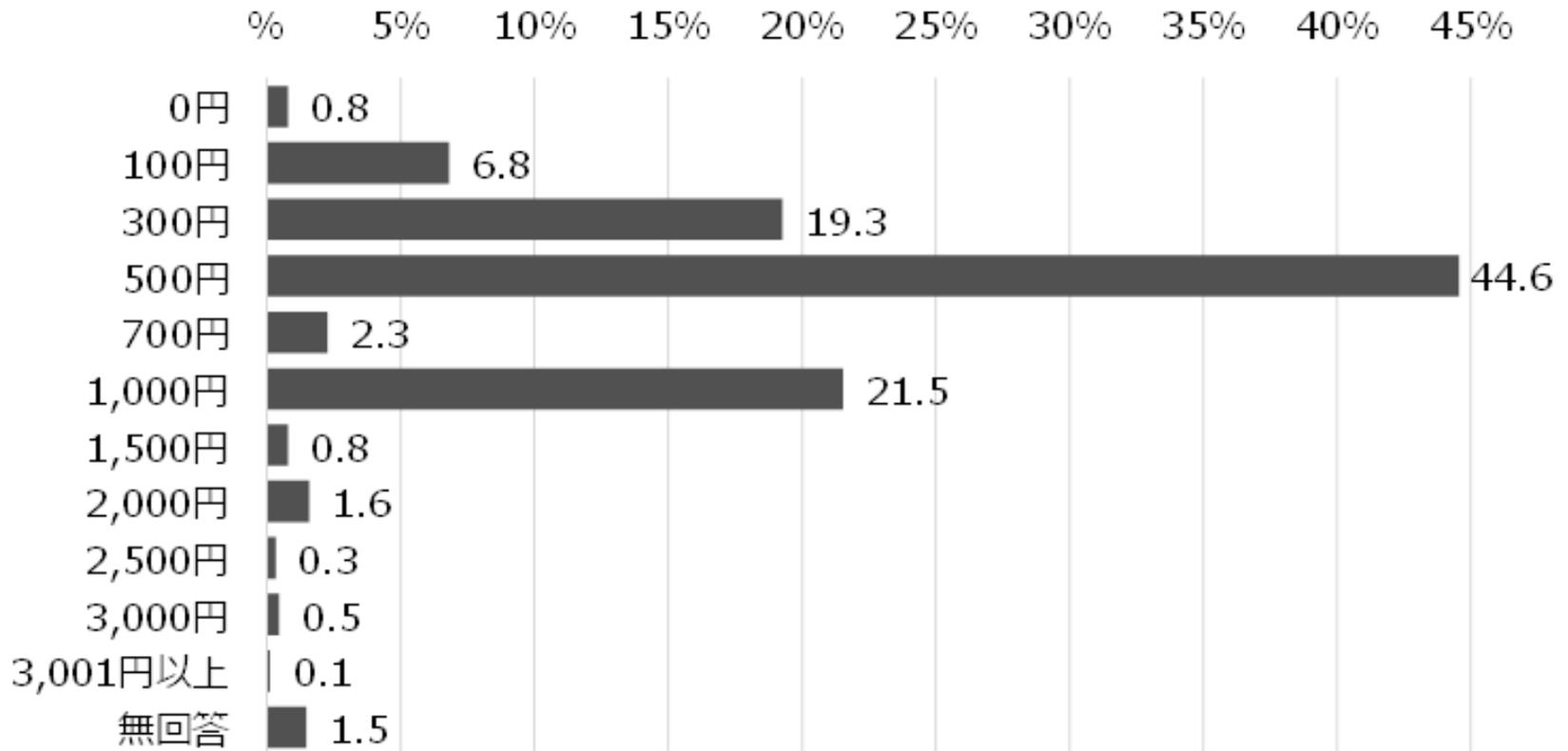


- 協力金箱に掲出された説明資料などでわかればよい。
- いつ、どの場所でどのような取組が行われたか、その結果を写真や説明資料で具体的に確認したい
- 2に加え、協力金収入及びその支出に関する収支決算書まで確認したい。
- 無回答

- 支払いの強制の度合い別では、“原則登山者全員が支払うべき”とした回答者と比較して“協力したい人が支払うべき”とした回答者は、協力金の使途に関するより詳細な情報提供を求める傾向がみられた。<sup>59</sup>

## ⑦支払っても良いと思う金額 (全体)

入山時に登山道の整備や維持管理のための協力金をお願いされるとしたら、1人いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選択してください。



- 「500円」が44.6%と最も高く、次いで「1,000円」(21.5%)、「300円」(19.3%)が続く。
- 平均値は599円、中央値は500円である。

# ⑦支払っても良いと思う金額 (年代別)

入山時に登山道の整備や維持管理のための協力金をお願いされるとしたら、1人いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選択してください。

	10代・20代 (n=98)	30代 (n=106)	40代 (n=177)	50代 (n=189)	60代 (n=204)	70代・80代 (n=91)	無回答 (n=17)
0円	0.0	2.8	0.6	1.1	0.5	0.0	0.0
100円	8.2	3.8	7.3	6.9	6.9	6.6	11.8
300円	13.3	16.0	22.0	23.3	17.2	22.0	11.8
500円	36.7	43.4	47.5	45.5	48.0	38.5	47.1
700円	5.1	3.8	1.1	3.2	1.0	0.0	5.9
1,000円	28.6	18.9	17.5	18.5	23.0	29.7	11.8
1,500円	1.0	1.9	0.6	1.1	0.0	1.1	0.0
2,000円	5.1	4.7	0.6	0.0	0.5	1.1	5.9
2,500円	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3,000円	0.0	0.0	1.7	0.0	0.5	0.0	0.0
3,001円以上	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.0	1.9	1.1	0.5	2.5	1.1	5.9

- 年代別では、すべての年代で「500円」が最も選択されている。

## ⑦支払っても良いと思う金額 (日本人・外国人別)

入山時に登山道の整備や維持管理のための協力金をお願いされるとしたら、1人いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選択してください。

	日本人(n=776)	外国人(n=106)
0円	0.4	3.8
100円	7.2	3.8
300円	21.3	4.7
500円	46.4	31.1
700円	1.9	4.7
1,000円	19.6	35.8
1,500円	0.5	2.8
2,000円	0.9	6.6
2,500円	0.1	1.9
3,000円	0.3	1.9
3,001円以上	0.1	0.0
無回答	1.3	2.8

- 日本人・外国人別では、“日本人”の半数近くが「500円」を選択しているのに対し、“外国人”は「500円」より「1,000円」を選択した回答者の方が若干多い。

## ⑦支払っても良いと思う金額 (居住地別)

入山時に登山道の整備や維持管理のための協力金をお願いされるとしたら、1人いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選択してください。

	北海道内 (n=502)	北海道外 (n=269)	海外(n=70)	無回答(n=41)
0円	0.6	0.0	4.3	2.4
100円	5.6	9.3	2.9	12.2
300円	23.3	17.5	2.9	9.8
500円	48.8	40.9	31.4	39.0
700円	2.6	1.5	1.4	4.9
1,000円	15.7	26.8	41.4	24.4
1,500円	0.2	1.1	2.9	2.4
2,000円	1.4	1.1	5.7	0.0
2,500円	0.2	0.0	2.9	0.0
3,000円	0.2	0.4	2.9	0.0
3,001円以上	0.2	0.0	0.0	0.0
無回答	1.2	1.5	1.4	4.9

- 居住地別では、“北海道内”・“北海道外”とも「500円」を選択する回答者が最も多かったが、“北海道外”の方が“北海道内”と比較して「1,000円」を選択する回答者の比率が高い。

# ⑦支払っても良いと思う金額 (登山頻度別)

入山時に登山道の整備や維持管理のための協力金をお願いされるとしたら、1人いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選択してください。

	年に1回未満 (n=61)	年に1回程度 (n=87)	年に2~5回 (n=287)	年に6回以上 (n=444)	無回答(n=3)
0円	0.0	1.1	1.0	0.7	0.0
100円	4.9	4.6	7.0	7.2	33.3
300円	18.0	13.8	23.3	18.0	0.0
500円	39.3	41.4	42.2	47.5	33.3
700円	4.9	4.6	2.8	1.1	0.0
1,000円	29.5	26.4	19.2	20.9	33.3
1,500円	0.0	1.1	1.4	0.5	0.0
2,000円	0.0	2.3	1.7	1.6	0.0
2,500円	1.6	1.1	0.3	0.0	0.0
3,000円	0.0	1.1	0.3	0.5	0.0
3,001円以上	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
無回答	1.6	2.3	0.7	1.8	0.0

## ⑦支払っても良いと思う金額 (大雪山での登山経験別)

入山時に登山道の整備や維持管理のための協力金をお願いされるとしたら、1人いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選択してください。

	1回(今回が初めて)(n=282)	2~5回(n=321)	6回以上(n=275)	無回答(n=4)
0円	1.4	0.0	1.1	0.0
100円	6.4	9.3	4.0	25.0
300円	16.3	17.4	24.7	0.0
500円	38.7	47.0	47.6	50.0
700円	1.4	4.4	0.7	0.0
1,000円	28.0	19.3	17.5	25.0
1,500円	2.1	0.0	0.4	0.0
2,000円	3.2	0.3	1.5	0.0
2,500円	0.4	0.6	0.0	0.0
3,000円	0.4	0.3	0.7	0.0
3,001円以上	0.0	0.0	0.4	0.0
無回答	1.8	1.2	1.5	0.0

- 登山頻度別や大雪山での登山経験別では、いずれの属性とも「500円」を選択する回答者が最も多い点は同様であるが、登山頻度・登山経験が多いほど「500円」の比率が高くなり「1,000円」の比率が低くなる傾向がみられる。 65

## ⑦支払っても良いと思う金額 (支払いの強制の度合い別)

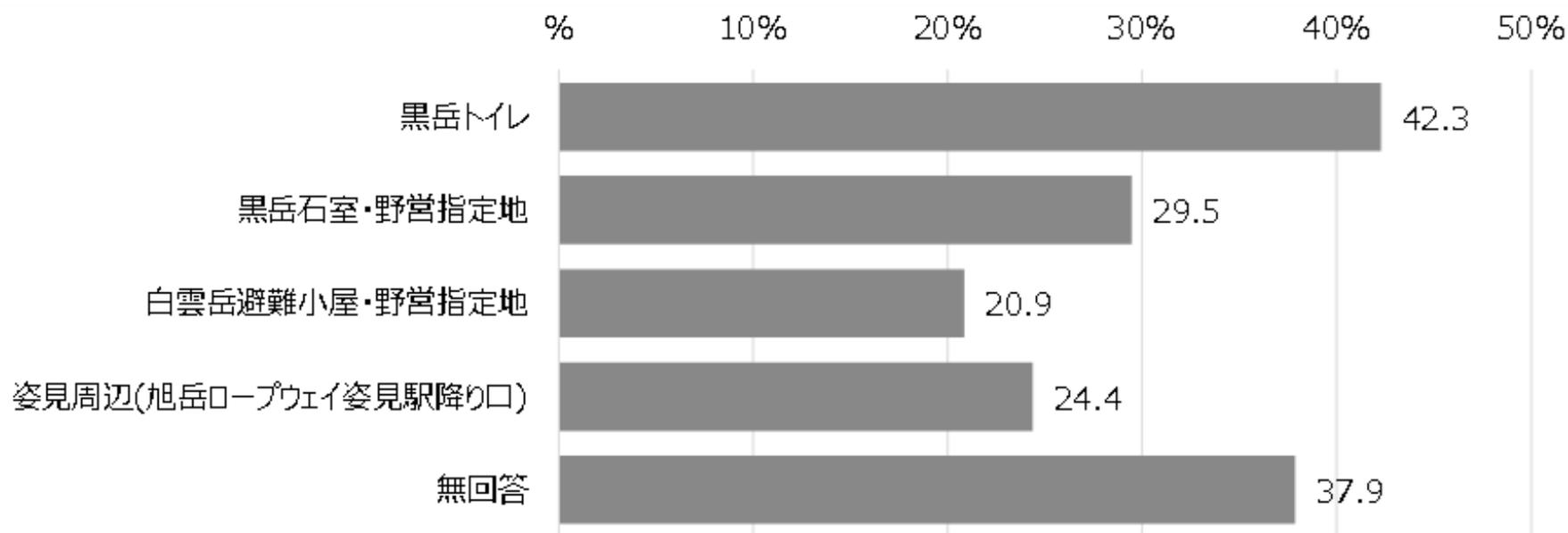
入山時に登山道の整備や維持管理のための協力金をお願いされるとしたら、1人いくらまでなら支払ってもよいと思いますか。あてはまる番号を1つだけ選択してください。

	原則登山者全員が支払うべき(n=603)	協力したい人が支払うべき(n=257)	支払う必要はない(n=7)	無回答(n=15)
0円	0.2	1.2	42.9	0.0
100円	4.1	12.1	28.6	13.3
300円	16.9	26.5	0.0	0.0
500円	46.6	41.6	0.0	33.3
700円	2.8	1.2	0.0	0.0
1,000円	25.2	14.0	28.6	0.0
1,500円	0.8	0.8	0.0	0.0
2,000円	1.7	1.6	0.0	0.0
2,500円	0.0	1.2	0.0	0.0
3,000円	0.5	0.0	0.0	6.7
3,001円以上	0.2	0.0	0.0	0.0
無回答	1.0	0.0	0.0	46.7

- 支払いの強制の度合い別では、“原則登山者全員が支払うべき”・“協力したい人が支払うべき”とも「500円」を選択する回答者が最も多かったが、“原則登山者全員が支払うべき”の方が“協力したい人が支払うべき”と比較して高めの金額を選択する傾向がみられる。

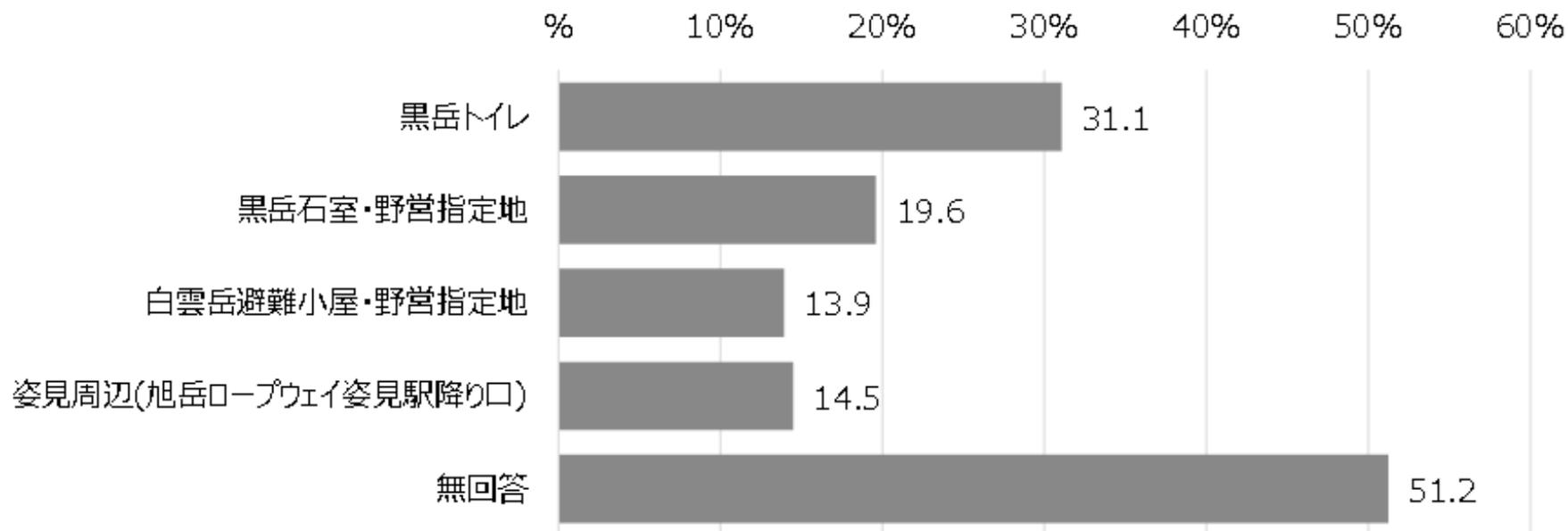
## (1)大雪山国立公園内の協力金 に対する認知度

現在いくつかの場所で施設の管理等のために協力金をお願いしています。協力金は、大雪山国立公園を利用される皆様から金銭の負担をお願いし、公園の施設の整備や運営に使用するものです。以下に挙げる場所で協力金の支払いをお願いしていることを知っていましたか。知っていた場所の番号をすべて選択してください。



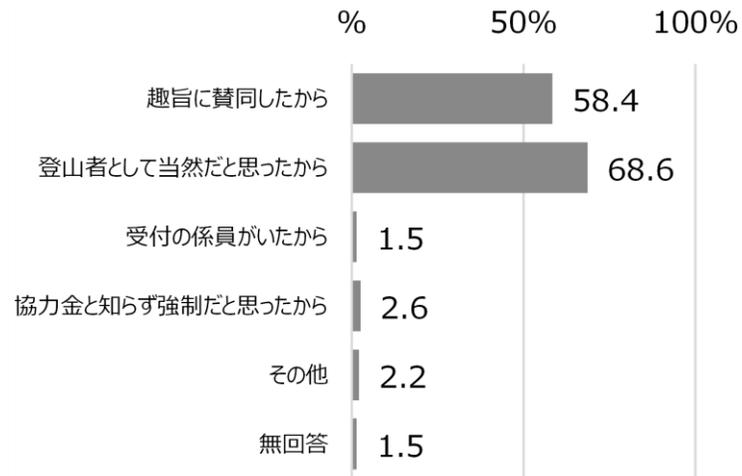
## (2)大雪山国立公園での 協力金の支払い経験

以下の場所でお金を支払ったことがありますか。支払ったことがある場所の番号をすべて選択してください  
(協力金であることを知っていた場合、協力金であることを知らなかった場合のどちらの場合でも)

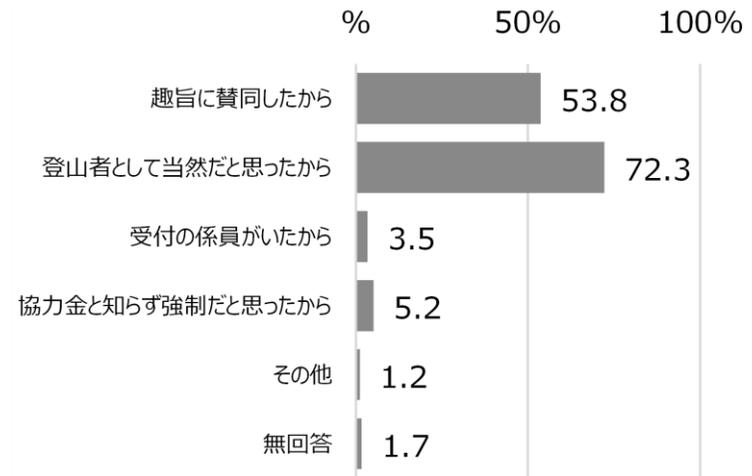


お金を支払った理由について、あてはまる番号をすべて選択してください。

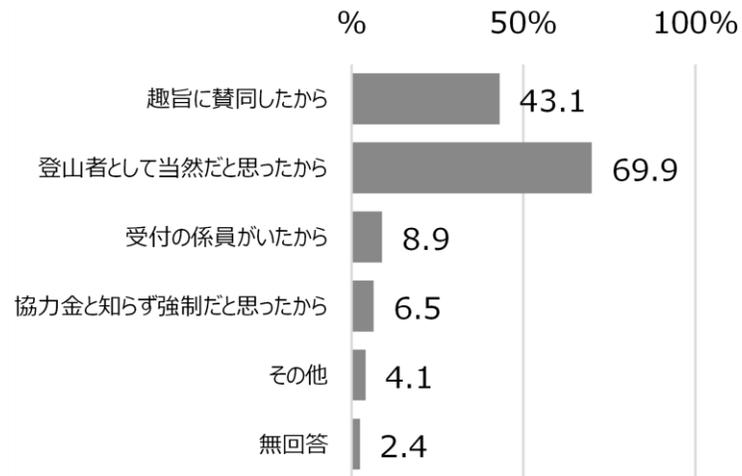
# (3) 協力金を支払った理由



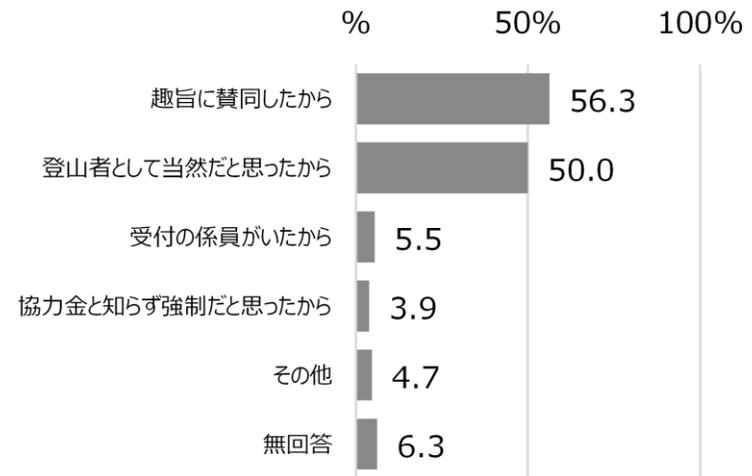
黒岳トイレ



黒岳石室・野営指定地



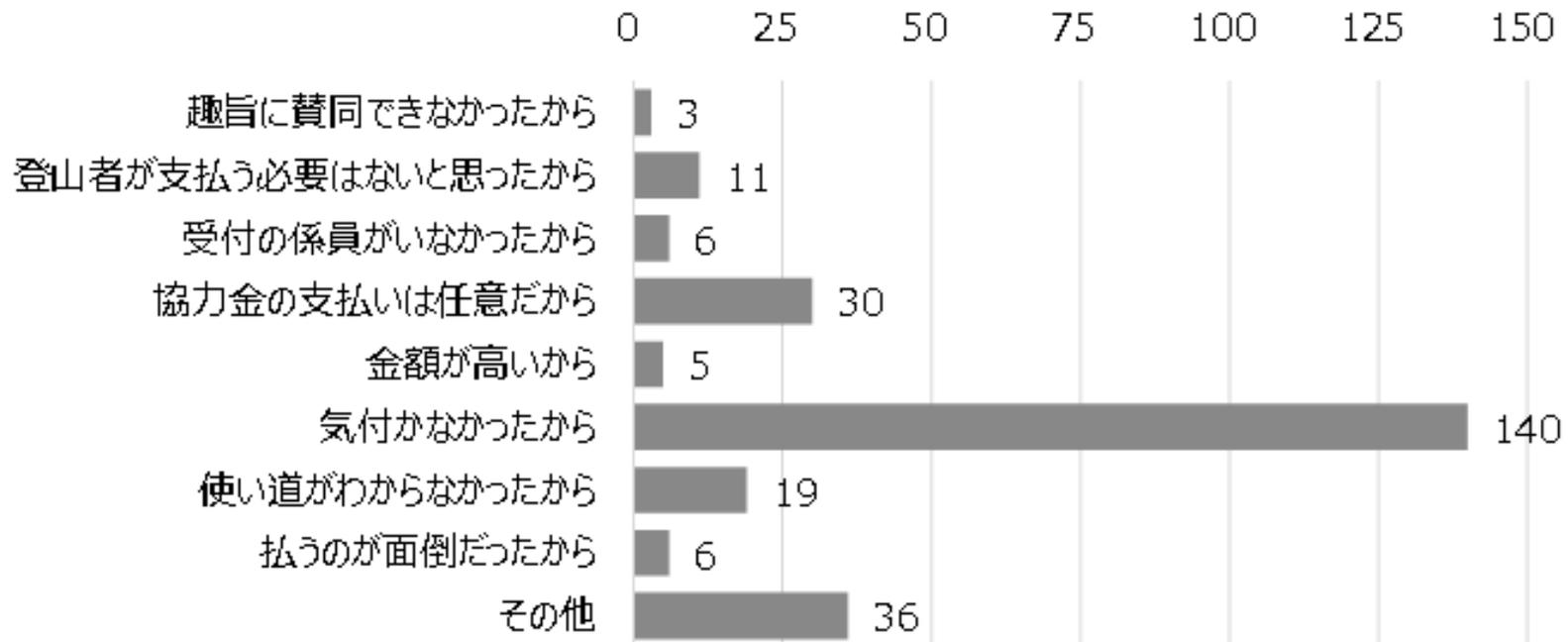
白雲岳避難小屋・野営指定地



姿見周辺（旭岳ロープウェイ姿見駅降り口）

施設を利用したけれども、お金を支払わなかったことがある場合、その理由について、あてはまる番号をすべて選択してください。

## (4) 協力金を支払わなかった理由



# 令和元年度 大雪山国立公園における協力金 に関するヒアリング結果 概要

# 1. 協力金収受の機会が設けられることにより直接利害が生じる可能性 がある団体

ヒアリング期間：令和元年11月11日から21日にかけて

ヒアリング対象者：観光協会、交通事業者

## (1) 協力金導入の必要性等

- 大雪山の登山道の荒廃などの課題に対応するため、協力金は必要。  
(※利用拠点や地域経済に対する影響、懸念、心配は感じられない)
- 協力金等に対する利用者の機運の高まりを感じる。
- 使途が明確であること、使われた結果の利用者へのフィードバックは必須。
- 既存の協力金についてはそのしくみ維持しつつ、新しく実施する場合、別途の枠組を構築する必要があるのではないか。

## (2) 協力金の使途

- 登山道の整備、標識類の多言語化、トイレの整備を挙げる関係者が多数。
- 一方、遭難者捜索への使用については賛否両論あった。

# **1. 協力金収受の機会が設けられることにより直接利害が生じる可能性 がある団体**

## **(3) 協力金支払いに対する対価やサービス**

- 協力金を支払ったことに対して、その場で何らかの対価、恩恵があるのが望ましいという意見が多数（上記（2）の用途とは別に）。
- 具体的には遭難防止対策に関するサービス、山岳保険加入、入山届オンライン化等の例が挙げられたが、様々な意見、アイデアがあった。

## **(4) 協力金の収受方法**

- ロープウェイ・バス運賃や宿泊料金への上乗せに関しては否定的な意見が多かった（支払いの状況=場所、相手などにも納得感が必要）。
- QRコード等を利用したキャッシュレス決済の導入（情報通信技術の活用）を期待する意見が多数。
- 人員を配置しない登山口での収受については、盗難等の懸念を示す意見が多数。

# 1. 協力金収受の機会が設けられることにより直接利害が生じる可能性 がある団体

## (5) 協力金の収受金額

- いわゆる値ごろ感のよい（みんなが納得できる）金額が重要。

## (6) 協力金の収受場所・対象範囲

- まずは協力金の取組を始めることが大切。早期に協力金のしくみを定着させるためには個別の事例・実績を作るべき。そのために導入しやすい地区から試験的に先行して実施してはどうか。

## 2. 大雪山国立公園に関する行政機関（環境省以外）

ヒアリング期間：令和元年11月18日から26日にかけて

ヒアリング対象者：国有林、道有林

- 「協力金を収受する」、「協力金を活用して登山道等の施設を補修する」など、それぞれの目的のために、土地使用の手続きその他関係法令手続がなされていれば、協力金の収受、活用については、特段問題ない。

## 3. 有識者

ヒアリング期間：令和元年8月6日から12月25日にかけて

ヒアリング対象者：北海道大学大学院農学研究院 愛甲准教授、庄子准教授  
北海道大学大学院環境科学研究所 渡辺教授（合計3名）

### **(1) 協力金導入の導入に対して**

- 協力金の導入は問題なく、具体的な制度設計を進めるべき。
- 関係者との十分な事前調整、既存の協力金との整合性・棲み分けの議論、收受方法と收受効率のバランスの検討、用途の明確化が必要。
- 協力金を收受する対象者の整理が必要（登山者のみとするか観光客も対象とするか、地元ガイド・山岳会・パークボランティア等公園関係者の位置づけ）。
- 登山者を対象に協力金が一定額集まる実績をつくった後、收受範囲の拡大を検討してはどうか。

## 3. 有識者

### (2) 協力金の収受場所

- 社会実験として導入しやすい地区（黒岳・高原温泉・旭岳等）から取組みを始めではどうか。
- 広大で多くの登山口を有する大雪山国立公園では全域一律に協力金を徴収することは困難

### (3) 協力金の収受方法

- 平日は無人、多くの登山者が訪れる日は人員を配置し収受する形がよい。
- 地元関係者に対する割引制等、支払いやすさの考慮。高齢者などは新しい支払い方法には不慣れと考えられ、多様な支払い方法を確保することも必要。
- 協力金支払いへのQRコード等の採用と併せて利用者に情報提供ができる仕組みをつくると、利用者にとって協力金支払いの動機になる可能性
- 協力金を収無人の場所に募金箱等を置いて収受する方法は現金の管理が心配

## 3. 有識者

### (4) 協力金の使途

- 目的の設定が必要（山岳域では高山植物保全、高原温泉ではヒグマの生息環境保全等）。
- 地球温暖化等と関連付けた調査研究・モニタリング費用としての用途も考えられる。
- 登山口での収受が難しいようであればプロジェクトやキャンペーンとして短期的に寄付を集め、わかりやすい成果（登山道の整備や補修）を出すことをくりかえし機運を高めていくやり方も考えられる。
- 特定の地区で収受した協力金の一部を、大雪山国立公園全体や公園内の他地区で使用できるようにしておくことが望ましい

## 3. 有識者

### (5) 協力金の使途に対する情報提供

- 登山道の整備・維持管理に要するコストを算出し、課題解決に要する費用、そのうち管理者等が負担する額と協力金の目標額を示すべき。
- 利用者が不満を感じない金額とサービスの設定根拠が必要。
- 協力金に関する情報提供（アピール）のしかたによって利用者が支払ってもよいと考える金額が変動する可能性。

### (6) 協力金の収受金額

- 利用者にとって、協力金が“財源不足を補うもの”ではなく、“支払い額に見合う対価・サービスを得られるもの”と認識できる形であるほうが協力を得やすい。低額で現状との変化・改善が感じられないより、高めの金額設定とする代わりに明確な対価・サービスを示す方が効果的
- 国立公園の間で協力金等に基づくサービスの質が比較されるようになる可能性がある。

## 大雪山国立公園における協力金に関する取組方針（仮）の作成について

- 大雪山国立公園連絡協議会（国立公園の協働型管理運営組織）における協力金の取組に対する基本的な認識、方針を、「取組方針（仮）」として示す。
- これにより、大雪山国立公園における協力金の取組に対する機運を向上させ、個別地域における協力金の導入、検討を後押しする。

### <協力金の取組方針（仮）に含まれる内容（案）>

- ①大雪山国立公園において協力金の取組をすることの意義
- ②大雪山国立公園における協力金の取組の進め方
- ③大雪山国立公園の個別地域において取組をする場合に、共通して実施すべき事項
  - ・管理、運営組織の立ち上げと合意形成について
  - ・收受目的の協力者への情報開示について
  - ・協力金の使途および会計報告について
  - ・管理、運営に関する情報公開について

### 参考 個別地域において協力金收受を行う場合に検討が必要な事項

- ①目的
- ②対象者
- ③使途
- ④收受金額
- ⑤收受場所
- ⑥收受方法
- ⑦使途に関する情報提供
- ⑧收受した協力金の配分（個別地域以外への適用）
- ⑨管理、運営の体制
- ⑩管理、運営に関する情報公開

# 富士山保全協力金について

令和2年11月19日  
静岡県富士山世界遺産課

# 富士登山の概要

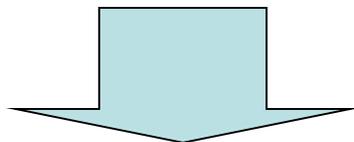
夏山開山期間:7月10日(山梨県吉田ルートは7月1日から)~9月10日  
登山者数(環境省八合目赤外線カウンターの数値)

区分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
富士宮ルート	55,516	58,090	70,319	データ欠損	53,232
御殿場ルート	15,123	15,339	18,411	11,792	12,230
須走ルート	23,122	20,277	23,475	26,696	20,215
静岡県計	93,761	93,706	112,205	—	85,677
吉田ルート	136,587	151,969	172,657	150,845	149,969
富士山合計	230,348	245,675	284,862	—	235,646

# 富士山保全協力金制度の導入経緯

2013年の第37回世界遺産委員会において、世界文化遺産として登録された。

その際、保全状況報告書を平成28年2月1日までに提出するよう決議され、増加する来訪者による負荷への影響をしっかりと示すとともに、**環境保全や安全対策を充実させることが必要**となった。



その財源確保の一つとして利用者負担が位置付けられた。

# 制度骨子1

理念	富士山の普遍的価値（信仰の対象、芸術の源泉など）を広く後世へ継承するための意識醸成
目的	<ul style="list-style-type: none"><li>・富士山の環境保全</li><li>・登山者の安全対策</li><li>・富士山の顕著な普遍的価値の情報提供</li></ul>
制度	<p>協力金（寄附金）として開始する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・法的に強制力はないが、できる限り対象者全員から協力を得られることを目指す。</li><li>・より公平な制度を目指し、見直しを行う。</li></ul>

# 制度骨子2

対象者	五合目から <u>先に立ち入る来訪者</u>
用途	<ul style="list-style-type: none"><li>・<u>富士山五合目以上における事業の財源に充当</u><ul style="list-style-type: none"><li>①富士山の環境保全 トイレの新設・改修(維持管理費除く)、 モニタリング、外来植物侵入防止等</li><li>②登山者の安全対策 救護所の開設、安全誘導員の配置等</li><li>③富士山の普遍的価値の情報提供 意識啓発、情報提供 等</li></ul></li><li>・実施経費(収入の3割を上限)</li></ul>
金額	基本 1,000円

# 制度骨子3

実施体制	<ul style="list-style-type: none"><li>・山梨、静岡両県が協議しながら、各県それぞれが実施（制度は要綱で規定）</li><li>・各県が基金を設置し、協力金を管理</li></ul>
実施期間	<ul style="list-style-type: none"><li>・登山道開通期間</li><li>・24時間受付</li></ul> <p>静岡県は、登山道が3つあるため、対面式受付を24時間実施することは収支逆転となるため、コンビニエンスストアやインターネット受付により補完</p>
受付方法	<p>①現地受付、②インターネット受付</p> <p>③コンビニエンスストア受付④県庁受付</p>

# 協力金の現地受付体制と時間

場所	人数	時間
富士宮口 五合目 (レストハウス屋上、登山道入口)	4人 繁期+2人	4:00~ 21:00
シャトルバス乗換駐車場	2人 繁期+2人	5:00~ 12:00
御殿場口 五合目	2人	4:00~ 12:00
須走口 五合目	3人	4:00~ 21:00

# 現地受付の様子



# 保全協力金 協力者証

缶バッジ: 登山道ごと色分け

デザインに浮世絵を採用: 文化遺産登録の理由

「芸術の源泉」であることを示す。

(2018年 葛飾北斎 富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二)



# 目標 協力率

毎年、予算上の目標協力率を

**70%**

と設定

(理念としては、100%の協力を得る)

# 協力金の受入状況(静岡県)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元
金額 (千円)	44,021	43,456	46,526	52,048	56,553	57,512
人数 (人)	43,555	43,792	48,235	54,087	57,157	57,738
協力率 (%)	40.9	46.7	51.5	48.2	算出 不能	67.4

# 協力金の受付コスト(静岡県)

課題：受付コストの削減

(単位：千円、%)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元
収入a	44,021	43,456	46,526	52,048	56,553	57,512
経費b	20,935	40,306	36,207	35,080	35,594	35,367
a-b	23,086	3,150	10,319	16,968	20,959	22,145
b/a	47.6%	92.8%	77.8%	67.4%	62.9%	61.5%
五合目受付 時間	8H	12H	12H	17H 8H	17H 8H	17H 8H <sub>12</sub>

# 協力金使途

## 充当対象事業

富士山五合目以上で行われる事業

環境保全、登山者安全対策、富士山の価値の情報提供

## 使途の決定方法

毎年、事業選定委員会で決定

学識経験者、山小屋組合長、関係市町担当課長により構成（事務局：県富士山世界遺産課）

# 富士山後世継承事業費補助金

県事業と補助事業

配分ルール(原則)

県事業:補助事業=1:1

富士山の保全を推進するために、様々な主体が事業を実施していることから、県事業と補助事業を1:1とする。

補助対象者:市町、行政関係団体、山小屋、非営利団体

財源:富士山保全協力金

# 制度の広報・周知

協力率向上のためには、事前の制度周知が重要  
また、用途を説明し、納得いただく必要がある。  
目指すは「千円札を握り締めて五合目に降り立つ」

## 協力金制度の認知と協力率（平成31年アンケート）

	事前に知っていた	知らなかった
協力した	81.0%	55.7%
協力しなかった	19.0%	44.3%

# 制度の広報・周知 2

## 1 登山前の周知強化

### (1)山梨県と連携した広報 統一ロゴマーク



静岡県・山梨県

ホームページ、ポスターなどで使用  
協力金のイメージカラーを青とする。

# 制度の広報・周知 3

- (2) 世界遺産富士山公式サイト の改善 「富士山とことん」
- ・協力金制度、使途について、ピクトグラムを使用し、見やすいものに改善
  - (多言語で説明: 日・英・中(繁・簡)・韓・ポルトガル)
- (3) 公式サイトへの誘導
- ・閲覧数の多い「富士登山オフィシャルサイト」にバナーを表示
  - ・訪日外国人向けに「ジャパングイド」にバナー広告表示
  - ・富士山アプリ「富士山ぐるぐる旅行」からリンク

# 制度の広報・周知 4

## (4) ツアーバス会社への協力依頼

ツアー申込者へのチラシ配付

ツアーのHPに協力金バナー掲載

ツアー当日の協力金受付ブースへの誘導

ツアーバス内でのDVD放映(安全登山情報、協力金制度の案内)

## (5) 登山用品店への協力依頼

ポスター掲示、パンフレット配布

# 制度の広報・周知 5

(6) 路線バス、シャトルバスでの制度周知  
音声案内、DVD放映

(7) その他媒体の利用

- ・旅行雑誌「まっふる」、「るるぶ」、「富士山ブック」への広告  
記事掲載
- ・県民だより、市町や観光協会が作成する登山パンフレット
- ・新聞での特集記事(開山前に掲載)
- ・地元ラジオでの広報

# 現地における協力率向上策

区分	具体策
外国人対策	ピクトグラムを使用し、多言語(日・英・中(繁体字、簡体字))、で説明
	外国語のできる受付員(委託)の配置 携帯型翻訳機も活用
使途の見える化	協力金で改修したトイレに「富士山保全協力金が使われています」の表示
	安全誘導員が協力金の腕章を付けて活動
雨対応	テントと荷物台の準備

# 富士山後世継承基金

区分	内容	令和元年実績
富士山保全協力金	富士登山者からの寄附	57,512千円
富士山寄附金	企業や個人からの寄附	17,138千円
ふるさと納税	静岡県に対するふるさと納税のうち、用途を「世界遺産富士山の保全管理」とされた分	1,200千円

## 大雪山国立公園協力金等検討作業部会の設置について

令和2年11月  
大雪山国立公園連絡協議会  
総会決定

大雪山国立公園連絡協議会規約第11条に基づき、次の作業部会を設置する。

### 1. 作業部会の名称

大雪山国立公園協力金等検討作業部会

### 2. 作業部会の目的

○大雪山国立公園ビジョンを踏まえ、大雪山国立公園の特性にみあった、協力金の取組方針や、利用者が国立公園の管理運営に参加する仕組みを、意見交換を通じて見出すもの。

### 3. 内容

- 令和元年度に実施した大雪山国立公園の登山者を対象とした協力金に関するアンケート調査の報告と検討
- 他の国立公園等における協力金等の取組事例の検討、協力金の収受に活用できる情報通信技術の検討
- 大雪山国立公園における協力金等の取組の進め方の検討

### 4. 検討体制

- 別紙のとおり。
- 会員以外の出席者：登山道維持管理部会構成員のうちの希望者

### 5. 設置期間、作業部会の回数

- 大雪山国立公園における協力金等の取組の進め方が明らかにされるまで（1～2年程度）
- 令和2年度は2回程度を予定。

大雪山国立公園連絡協議会  
大雪山国立公園協力金等検討作業部会名簿

機関、団体等	
北海道地方環境事務所	
北海道運輸局旭川運輸支局	
(一社) 層雲峡観光協会	
(一社) ひがしかわ観光協会	
(一社) 美瑛町観光協会	
(一社) かみふらの十勝岳観光協会	
NPO 法人南富良野まちづくり観光協会	
(株) りんゆう観光	
道北バス (株)	
十勝自然保護協会	
北海道大学大学院環境科学研究所 渡邊悌二教授	
北海道大学大学院農学研究所 愛甲哲也准教授	
北海道上川総合振興局	
北海道十勝総合振興局	
富良野市	
上川町	
東川町	
美瑛町	
上富良野町	
上士幌町	
鹿追町	
新得町	
登山道維持管理部会構成員のうち参加希望者	
表 大 雪 地 域	NPO 法人アース・ウィンド NPO 法人かむい NPO 法人大雪山自然学校 勤労者山岳連盟 (道央地区) 合同会社北海道山岳整備／一般社団法人大雪山・山守隊 山樂舎 BEAR 層雲峡ビジターセンター 大雪山倶楽部 大雪山国立公園パークボランティア連絡会 TREE LIFE 富良野山岳会 北海道山岳ガイド協会 (表大雪地区) 大雪と石狩の自然を守る会

	山のトイレを考える会
東	NPO 法人ひがし大雪自然ガイドセンター
大	新得山岳会
雪	十勝山岳連盟
地	
域	【参考】合同会社北海道山岳整備／一般社団法人大雪山・山守隊、山樂舎 BEAR、大雪山国立公園パークボランティア連絡会は東大雪地域にも重複して参加。

合計 22 機関・団体及び登山道維持管理部会

#### オブザーバー

機関、団体等
上川中部森林管理署
上川南部森林管理署
十勝西部森林管理署東大雪支署

#### <参考>不参加の機関・団体

北海道開発局開発監理部開発連携推進課、（一社）ふらの観光協会、  
 ワカサリゾート（株）、旭川電気軌道（株）、十勝バス（株）、北海道拓殖バス（株）、  
 大雪と石狩の自然を守る会、  
 北海道大学院 国際広報メディア・観光学院 観光学高等研究センター 木村宏教授、  
 南富良野町、士幌町



# 大雪山国立公園

## 登山者のみなさまへ

大雪山国立公園連絡協議会 発行 ご案内マップ(携帯トイレ情報入り)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 200000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平 20 業指、第 244 号)

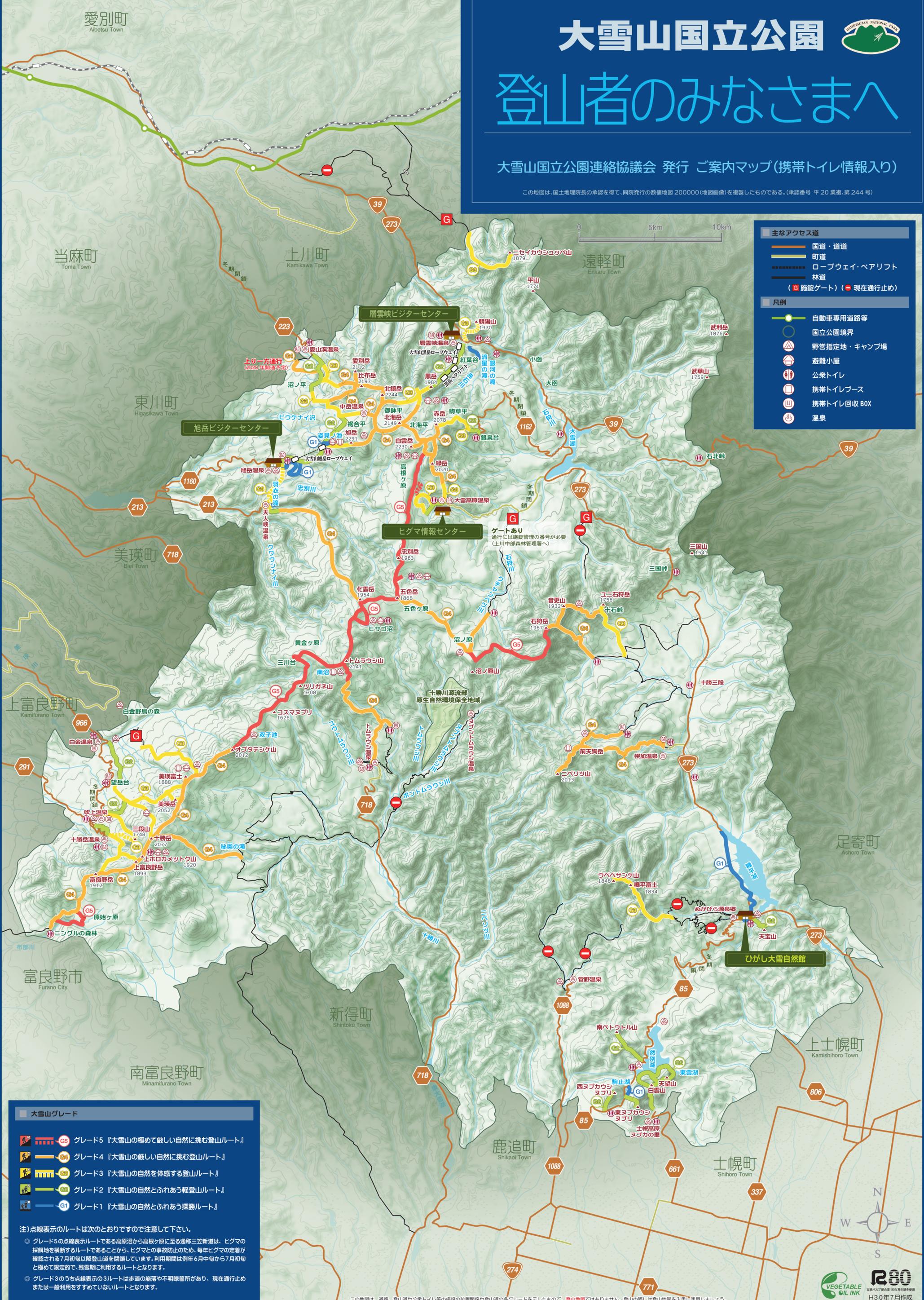
**主なアクセス道**

- 国道・道道
- 町道
- ロープウェイ・ヘアリフト
- 林道

(G) 施設ゲート (R) 現在通行止め

**凡例**

- 自動車専用道路等
- 国立公園境界
- 野営指定地・キャンプ場
- 避難小屋
- 公衆トイレ
- 携帯トイレブース
- 携帯トイレ回収BOX
- 温泉



**大雪山グレード**

- G5 グレード5 『大雪山の極めて厳しい自然に挑む登山ルート』
- G4 グレード4 『大雪山の厳しい自然に挑む登山ルート』
- G3 グレード3 『大雪山の自然を体感する登山ルート』
- G2 グレード2 『大雪山の自然とふれあう軽登山ルート』
- G1 グレード1 『大雪山の自然とふれあう探勝ルート』

注) 点線表示のルートは次のとおりですので注意して下さい。

- グレード5の点線表示ルートである高根ヶ原から高根ヶ原に至る通称三笠新道は、ヒグマの採餌地を横断するルートであることから、ヒグマとの事故防止のため、毎年ヒグマの定着が確認される7月初旬以降登山道を閉鎖しています。利用期間は例年6月中旬から7月初旬と極めて限定的で、残雪期に利用するルートとなります。
- グレード3のうち点線表示の3ルートは歩道の崩落や不明瞭箇所があり、現在通行止めまたは一般利用をすすめていないルートとなります。

この地図は、道路、登山道や公衆トイレ等の施設的位置関係や登山道の各グレードを示したもので、登山地図ではありません。登山の際には登山地図を入手し活用しましょう。

